



学生の就労意識調査

結果報告書

平成26年3月28日

一般財団法人 雇用開発センター

【はじめに】

この報告書は、一般財団法人雇用開発センターが、2014年2月末～3月初めにかけて実施した「学生の就労意識調査」の基本集計結果を取りまとめたものです。

この調査では、大都市圏の四年制大学に通う学生(大学院生含む)を対象に、卒業までの内定の見通しとその先の就労見通し、就職活動の内容、学生生活の内容などを主に調べています。

調査の項目は、2011年2月に当センターで実施された「学生の就労見通しと暮らしに関する意識調査」をベースに作成していますが、今回調査のトピックとして、近年企業側からも学生側からも急速に関心が高まっている、「インターンシップ制度」と「就職セミナー」については、さらに掘り下げて確認しています。

雇用開発センターでは、2010年2月から、若者の就労生活を情報面で支援する“ひらく・ナビ 20”をインターネットサイトで運営しています。

今回の調査結果は、このサイト上で学生の就職活動上の参考情報とするほか、当センターが若年就労意向者向けに発行する刊行物で、学生の就労準備を支援する情報として活用する予定です。

【調査実施概要】

1. 調査実施時期

- 2014年2月27日～3月5日

2. 調査対象者

- 18～25歳の男女学生
- 四年制大学の大学1年生～4年生、及び大学院生
- 首都圏・近畿圏・名古屋圏にある大学の学生
- 現在就学している学校卒業後の進路が「就労」(正規・非正規含む)及び大学院(博士含む)であること
- イプソス株式会社 J-panelより抽出

3. 有効回収数

	男性	女性	計
大学1～2年生	90	94	184
大学3～4年生	163	168	331
大学院生	55	46	101
計	308	308	616

4. 調査方法

- オンライン調査

5. 調査実施機関

- イプソス株式会社

結果のまとめ 1

I. 学生の就職に係る自意識と就活の見通し

1. 在籍する学校と学生生活（対象者の属性） 3

2. 2014年2月時点の就活状況 8

3. 職業能力の自己評価 9

4. 就職活動の見通し 10

II. 就職活動と社会人としての想定

1. 就職活動内容 11

2. 就職活動の主な相談相手 13

3. 就職活動で参考にする情報源 14

4. 就職・就労で評価を得るための準備 15

5. 就職を希望する企業のタイプ 16

6. 学生が自認する職業能力の強み 17

7. 就労にあたっての重視点 18

III. インターンシップ制度の理解と利用

1. インターンシップの参加率 19

2. インターンシップ情報の入手先 20

3. インターンシップの参加期間 21

4. インターンシップで参加したプログラム 22

5. インターンシップ先企業の選択理由 23

6. インターンシップ後の就職意向変化 24

7. インターンシップの満足度 25

8. インターンシップ不参加の理由 26

9. インターンシップのイメージ 27

10. 参加したいインターンシップ 28

11. インターンシップに参加したい企業 29

12. インターンシップ先を探し始める時期 30

13. インターンシップの参加時期 32

IV. 就職セミナーの受講と意義

1. セミナーの参加率 34

2. 就職へ向けた準備 35

3. 就職セミナーの情報源 36

4. 就職セミナーの満足度 37

5. 就職セミナーの参加意 38

6. 就職セミナーに参加したくない理由 39

7. 参加したい就職セミナー 40

8. 就職セミナーに参加したい時 41

参考：調査票

I. 学生の就職に係る自意識と就活の見通し

本調査は、2014年3月時点で18～25才の四年制大学生で、学卒後に就労を希望する者か院生への進学希望者を対象としている。

まず、学校・学部を選択した理由として、「卒業後の進路に有利な学校・学部を選択した」学生は約1/3に止まり、全体で半数を超える人(53.2%)が「興味のある勉強ができる学校・学部を選択」している。

また、全体の58%が「学業中心」で学生生活を送ったと回答し、これは前回調査(『学生の就労見通しと生活に関する調査』2011年2月)と同様の傾向である。男女別では女性の方が「アルバイト中心」が多く、文・理系別では理系の方が「学業中心」が多い結果であった。

就活以前の学業態度は、【専攻・専門領域】で70.9%が「積極的に出席」しており、同様に【卒業後の仕事に関わる領域】では50.3%であった。

今回の調査時点で、「すでに就活を終えた」学生が28.6%、「現在、就活中」の学生が25.6%と、半数強が就活を経験している。その就活経験者の中で、すでに内定をもらっている学生は55.1%であった。さらに、内定を複数社得ている学生は39.2%(内定者の中の比率)である。

学生たちに、職業能力の自信を聞いたところ、「自信がある(非常に+やや)」と回答した学生は、全体で26.9%であった。逆に「自信がない(まったく+あまり)」は35.6%であり、自信がある人を10%程度上回った。

属性別にみると、男性が女性より自信を持ち、国立→公立→私立の順で職業能力への自信が低くなる。

今回の調査時点で、「すでに就活を終えた」学生は、84.9%が「正規社員」で就職先が内定している。

しかし、「現在就活中」の学生では、「非正規社員でもやむを得ない」と考えている学生が27.2%、「留年・就職浪人もやむを得ない」が14.6%と、就職に対しては悲観的な学生も多い。

また、「まだ就活していない」学生でも、「正規社員」で決まると思う人が4割程度に止まり、半数近くが場合によっては「非正規社員」も想定している。

II. 就職活動と社会人としての想定

現在就職活動を行っている、または就職活動が終わった学生の就職活動内容は、「エントリーシートへの登録」69.8%が最も多く、次いで「企業セミナーへの参加」50.6%、「就職セミナーへの参加」39.2%といったセミナー系であった。また、「会社訪問」34.4%や「インターンシップ」31.1%といった企業への参加型も3割を超えた。「インターンシップ」への参加は前回調査より若干増加しているが、「セミナー系」は前回からほぼ横ばいの参加率であった。

インターンシップの参加企業社数は、1社が66.3%で複数社参加している人は4割に満たない。

「就職セミナー」への参加回数は、参加者の多くが複数参加しているものの、それほど回数は多くない。一方「企業セミナー」へ参加した学生は、10社以上が7割を占め、50社以上参加している学生もいる。

就職活動の相談相手として、最も多いのは「友人」51.1%であり、次いで「就職指導の教員・職員」46.3%であった。

就職で参考にする情報は、圧倒的に「就職情報サイト」64.8%である。「就職情報誌」41.7%や「就職に関する出版物」30.7も多いが、「就職情報サイト」と比べると半分から2/3程度である。

学卒後の就職に向けた準備としては、「学校での専攻、専門に関する科目」が52.8%と過半数を超え、次いで「一般常識」40.7%が高いが、前回調査と比較すると若干下がっている。

2つの企業タイプから就職先としてどちらを選択するか、提示した中で多く選択されたタイプは、「安定企業」「民間企業」「老舗企業」であった。

自身の職業能力の強みについて確認したところ、「強みはない」と回答した学生が、23.2%に及んだ。これは、前回調査と比較しても高い数字である。

各項目においては、前回調査とほぼ傾向は同じだが、「協調性」「柔軟性・適応力」「コミュニケーション能力・対人能力」などが前回と比較してマイナスが大きい。

就労上の重視点として多く挙げられた項目は、「給与・年収」「仕事のやりがい」である。前回調査と比較して、傾向に大きな変化はない。

Ⅲ. インターンシップ制度の理解と利用

今回の調査において、学生のインターンシップ参加率は、31.1%であった。前回調査では26.7%であり、微増という結果となった。この参加率は、企業セミナー(50.6%)や就職セミナー(39.2%)への参加率には及ばないが、学生にとっては関心の高い就職活動内容ではありそうだ。

それは別の学生全員への質問で、「インターンシップには参加したくない」と回答した人が、1割に満たなかったことでもわかる。

インターンシップの情報は、「大学の就職課」が最も多かったが(53.8%)、次いで多かったのは「就職情報会社」であった(39.4%)。

インターンシップへ参加する期間は、「3日～1週間」が最も多く39.4%であった。次いで、「1日」の超短期間が、26.0%であり、1か月以上の長期は少ない。参加プログラムは「見学・体験型」が最も多く、52.9%であり、「ミッション型」などと比較して参加率が高いことから、短期間のプログラムに人気があるようだ。

「インターンシップに参加して就職しなくなった」人が33.7%と、3人に1人がプラスに転じている。逆に「参加して就職しなくなった」人は15.4%と少ない。インターンシップに参加して「仕事・事業内容が理解できた」の満足度が約9割と高かったことが一因とも言えるであろう。

インターンシップ先には、「民間」の「安定企業」を希望するが、どの企業タイプでも「こだわらない」と回答した人が半数近くに及んでいることから、参加したい企業は、様々なタイプの企業にも及ぶと思われる。

インターンシップに参加するために、その受け入れ先を探し始める時期は、3年生の4月～8月頃が多い。

文系では「3年生の4月」がピークで、「8月」まで続き、一方、理系では「3年生の8月」がピークで、文系と比較してやや出足が遅れている。

インターンシップに参加する時期は、3年生の6月頃から増えだし、参加のピークは圧倒的に「3年生の8月」である。

Ⅳ. 就職セミナーの受講と意義

今回の調査において、学生の企業セミナー参加率は50.6%、また就職セミナーの参加率は、39.2%である。

前回調査では、選択肢に企業セミナーのみが提示されていたが、参加率は62.9%であった。

今回の調査で、企業セミナーまたは就職セミナーのどちらか一方でも参加した人は、61.4%であったことから、前回とほぼ変わらない結果である。

「大学の案内」が約8割で圧倒的に多いが、「就活サイト」から情報を得た人も半数を占めた。

就職セミナーに参加して満足したことは、「就職活動の流れが理解できた」75.6%(満足+やや満足)が、圧倒的に満足度が高い。

就活終了者を除いた学生の就職セミナー参加意向は、半数以上の54.6%であった。

「女性」「1～2年生」「近畿」「私立」において、参加意向が高い傾向にある。

特に若い世代や、就活をまだ始めていない学生にとって、「面接のノウハウがわかる」セミナーや、「就職活動の流れがわかる」セミナーへの参加意向が高い。

就職セミナーへの参加意向時期は、ほとんどが3年生に集中している。3年生の夏～秋をピークとして年度一杯まで続く。

文系学生と理系学生と比較すると、文系学生の方が全体的に参加意向が高く、3年生の1年間にわたりピークが長い。

1. 在籍する学校と学生生活(対象者の属性) ①学校の種類と専攻

- 2014年3月時点で18~25才の四年制大学生で、学卒後に就労を希望する者か院生への進学希望者を対象とした。
- 今回の調査では、3~4年生を他学年よりも多くしており、また大学院生も含んでいる。

図. 性別(n=616/%)

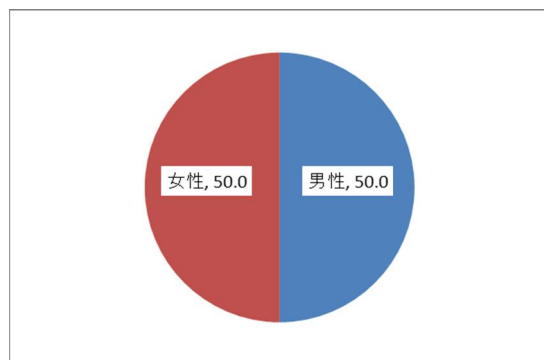


図. 国公立(n=616/%)

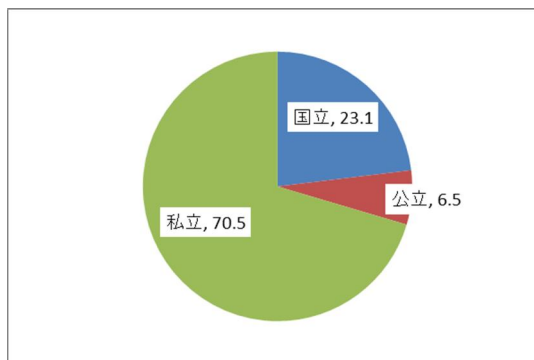


図. 学校の所在地(n=616/%)

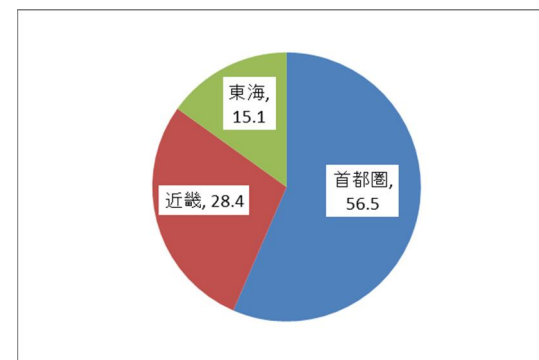


図. 学年(n=616/%)

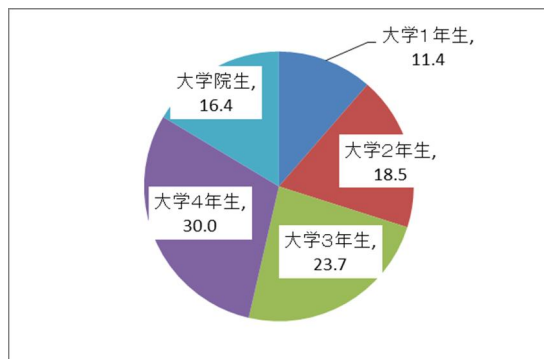


図. 文・理系(n=616/%)

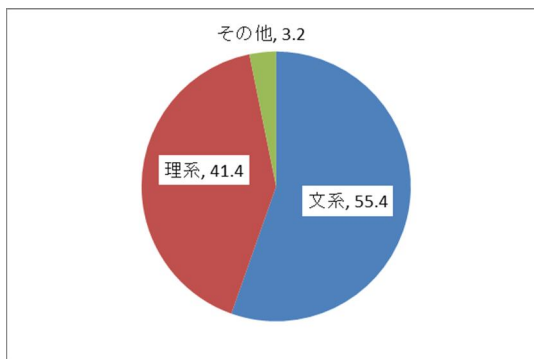
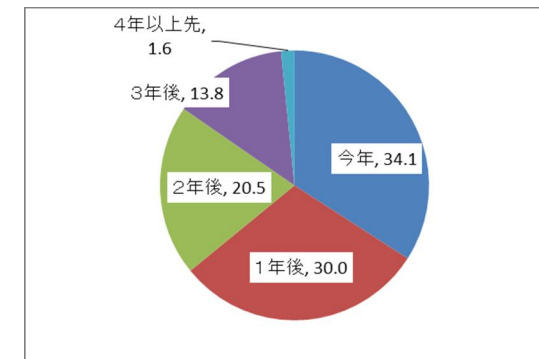


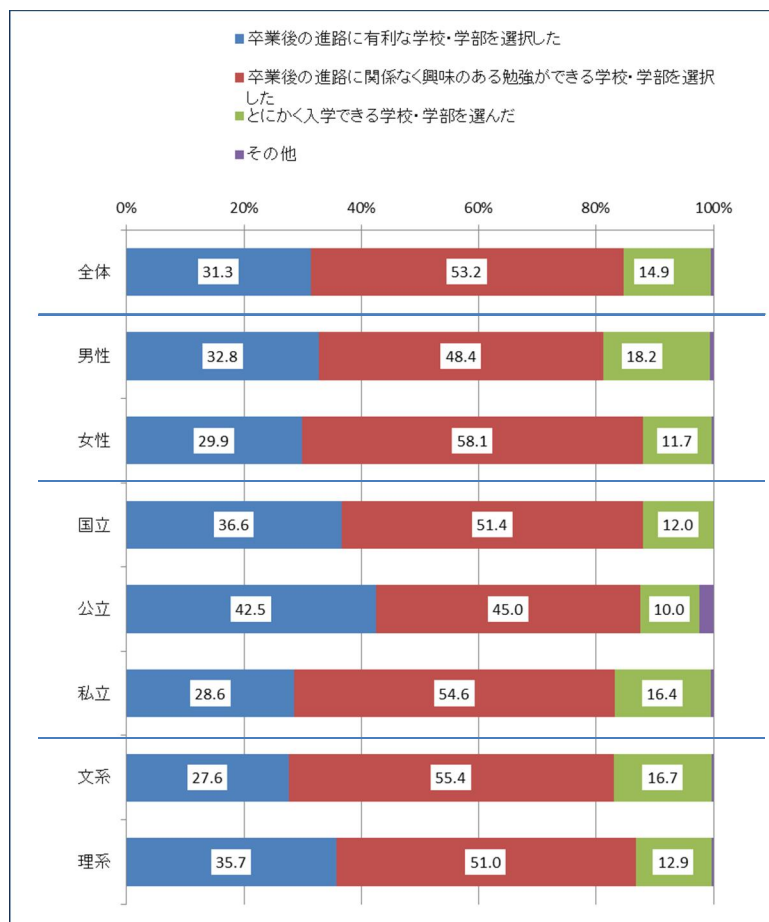
図. 卒業年次(n=616/%)



1. 在籍する学校と学生生活(対象者の属性) ②学校選択理由

- 学校・学部を選択した理由として、「卒業後の進路に有利な」は31.3%であり、属性別にみると、男性、国公立、理系で高い。
- 全体で半数を超える人(53.2%)が「興味のある勉強ができる」学校を選択し、女性、私立、理系で特に高い。
- 一方「とにかく入学できる」学校・学部を選んだ人は、全体で14.9%、男性、私立、文系の学生で多くみられる。

図. 学校選択理由(n=616/%)

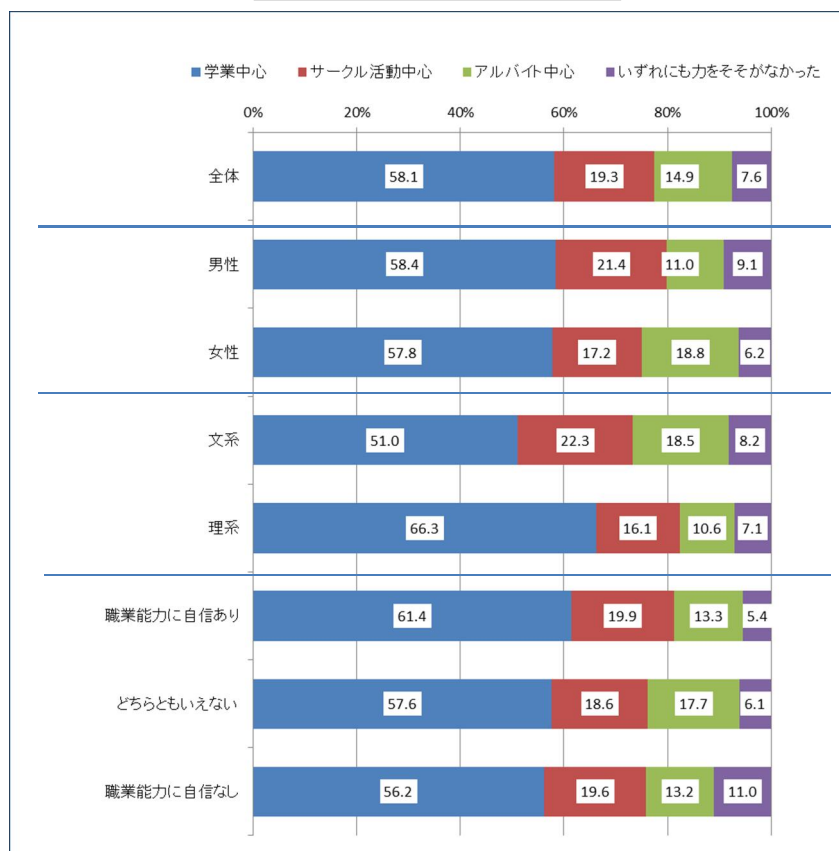


Q. あなたが、現在の学校・学部を選択する際、卒業後の進路を考慮しましたか。(1つだけ)

1. 在籍する学校と学生生活(対象者の属性) ③学生生活の送り方

- ▶ 全体の58%が「学業中心」で学生生活を送ったと回答し、この傾向は前回調査と同様の傾向である。
(今回調査と前回調査の調査概要の違いは点線内を参照、以下同様)
- ▶ 男女別では女性の方が「アルバイト中心」が多く、文・理系別では理系の方が「学業中心」が多い結果であった。
- ▶ また、職業能力に自信のない学生で「いずれにも力をそそがなかった」が他の属性と比べて多くなっている。

図. 学生生活の送り方(n=616/%)



Q. あなたの学生生活は、どのようなものですか? 次の中からあなたの学生生活に最も近いものをお選びください。(1つだけ)
 ※学業=勉強や研究 ※サークル活動=サークル・部活動、趣味の活動
 ※就職活動は除く

※参考 前回調査(n=1,120)

学業中心	サークル活動中心	アルバイト中心	学業・サークル活動・アルバイトのいずれにも力をそそがなかった
57.8	19.7	15.8	6.7

※今回調査と前回調査の調査概要

【今回調査】

対象者条件: 18~25歳(2014年2月現在)で、現在四年制大学の大学1年生~4年生、及び大学院生であること

現在就学している学校卒業後の進路が「就労」(正規・非正規含む)及び大学院(博士含む)であること

有効回収数: 男性308人、女性308人 計616人
(内、今春卒業者: 男性108人、女性108人 計216人)

調査実施時期: 2014年2月27日~3月5日

調査エリア: 首都圏・近畿圏・名古屋圏の大学

【前回調査】

対象者条件: 20~25歳(2011年4月1日現在)で、現在「学生」(大学・大学院・短大・専修学校含む)であること

現在就学している学校卒業後の進路が「就労」(正規・非正規含む)であること

有効回収数: 男性535人、女性585人 計1,120人
(内、今春卒業者: 男性197人、女性226人 計423人)

調査実施時期: 2011年2月17日~25日

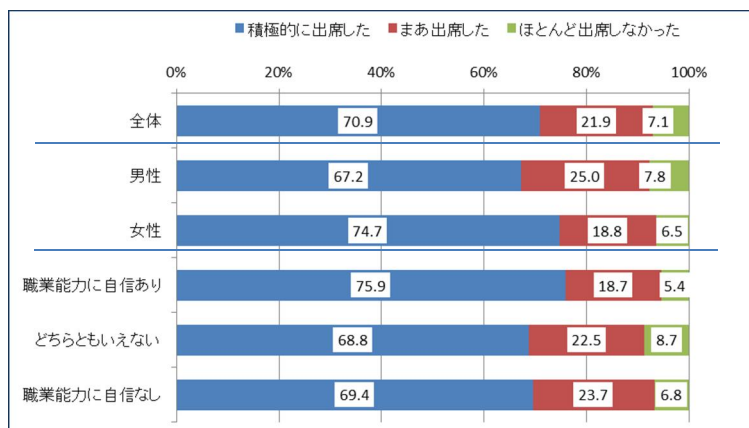
調査エリア: 全国

1. 在籍する学校と学生生活(対象者の属性) ④就活以前の学業態度

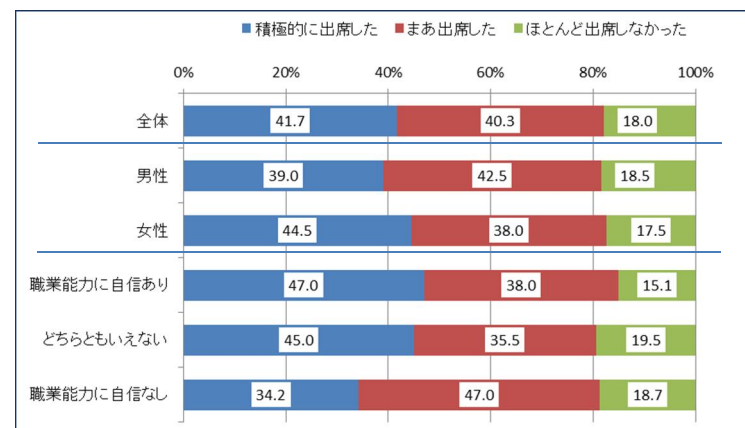
- 就活以前の学業態度は、前回調査と大きく傾向は変わらない。【専攻・専門領域】で70.9%が「積極的に出席」しており、同様に【卒業後の仕事に関わる領域】では50.3%であった。また、どの領域も「ほとんど出席しなかった」学生が増加していることがうかがえる。
- 属性別にみると、どの領域でも男性より女性の方が、積極的に出席している。
- 同様に、「職業能力に自信のある」学生は、「積極的に出席している」人が多い傾向にある。

図. 就活以前の学業態度(n=616/%)

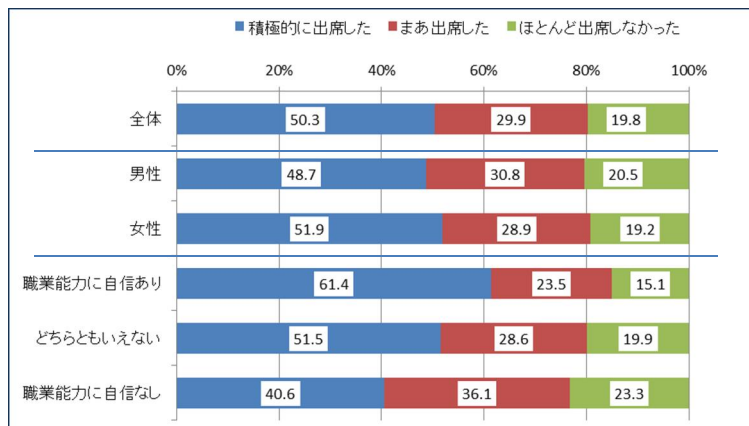
【専攻・専門領域】



【それ以外の領域】



【卒業後の仕事に関わる領域】



※参考 前回調査(n=1,120)

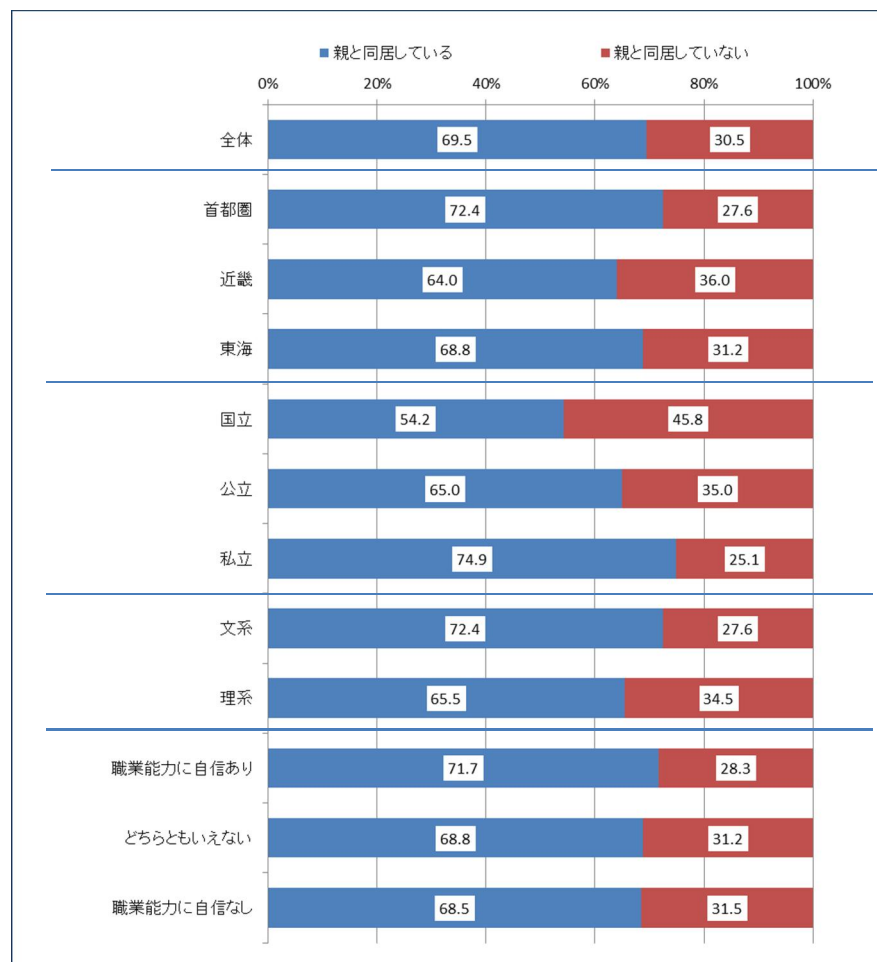
	積極的に出席した	まあ出席した	ほとんど出席しなかった
専攻・専門領域	68.0	25.5	6.4
卒業後の仕事に関わる領域	49.6	33.4	17.1
それ以外の領域	40.6	43.3	16.1

Q. あなたは、就職活動以前、どの程度授業・講義・ゼミ等に出席しましたか。(1つずつ)

1. 在籍する学校と学生生活(対象者の属性) ⑤親との同居

- 前回調査と比較すると「親との同居者」が増加しているが、調査エリアの違いによるものと推定される(前は全国、今回は大都市圏)。
- 全体では、約7割が親と同居しており、「私立」「文系」の学生と、親との同居比率が高い傾向にある。

図. 親との同居(n=616/%)



※参考 前回調査(n=1,120)

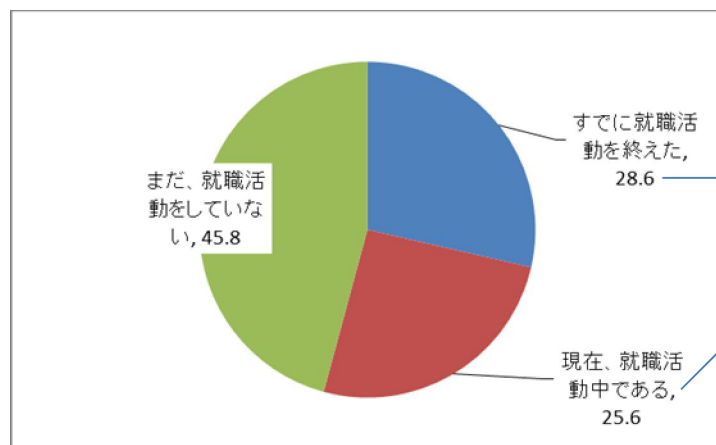
親と同居している	親と同居していない
59.9	40.1

Q. あなたは、いざだんのお住まいにおいて、親と同居していますか。(1つだけ)

2. 2014年2月時点の就活状況

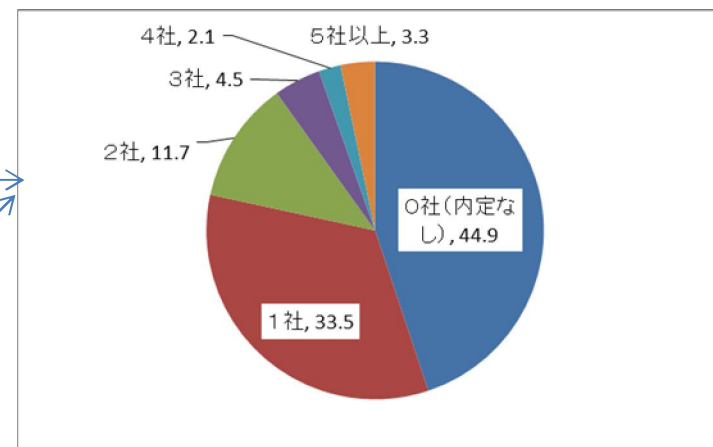
- 今回の調査時点で、「すでに就活を終えた」28.6%、「現在、就活中」25.6%と、半数強の人が就活を経験している。
- その就活経験者の中で、すでに内定をもらっている学生は55.1%であった。
- 内定を複数社得ている学生は39.2%(内定者の中の比率)である。

図. 就活段階(n=616/%)



Q. あなたは、就職活動をしましたか。または、就職活動をしていいますか。(1つだけ)

図. 内定状況(n=334/%)



Q. あなたは、合計で何社の内定を得られましたか。

※参考 前回調査(n=1,120)

就活段階	割合 (%)
すでに就職活動を終えた	27.4
現在、就職活動中である	34.6
まだ、就職活動をしていない	37.9

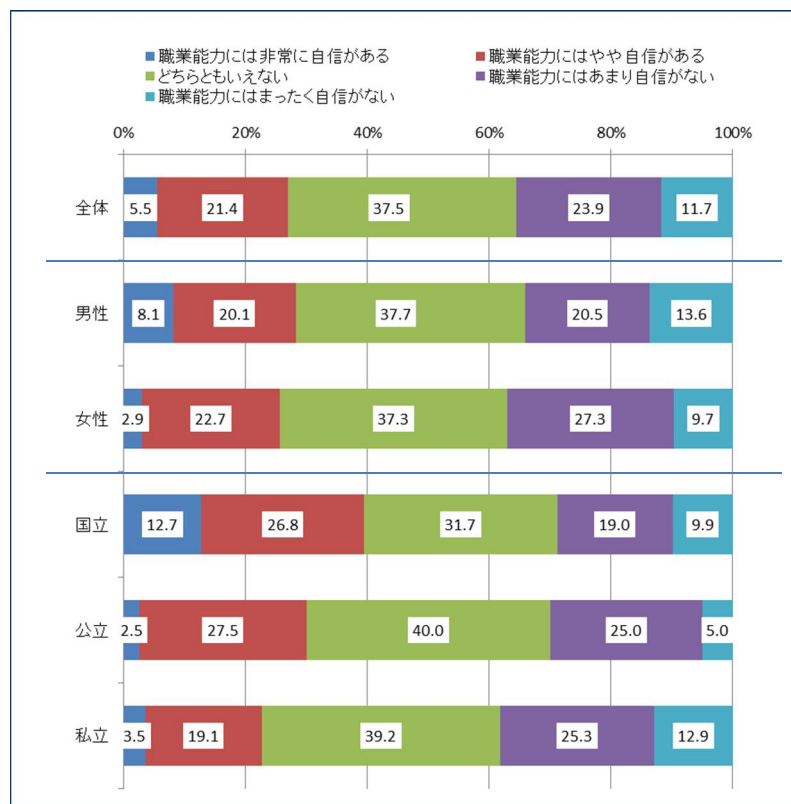
※参考 前回調査(n=695)

内定状況	割合 (%)
0社(内定なし)	53.5
1社	29.6
2社	10.8
3社	3.3
4社	1.0
5社以上	1.7

3. 職業能力の自己評価

- 自身の職業能力の自信を聴いたところ、「自信がある(非常に+やや)」と回答した学生は、全体で26.9%であった。
- 逆に「自信がない(まったく+あまり)」は35.6%であり、自信がある人を10%程度上回った。
- 属性別にみると、男性が女性より自信を持ち、国立→公立→私立の順で職業能力への自信が低くなる。

図. 職業能力の自己評価(n=616/%)



※参考 前回調査(n=1,120)

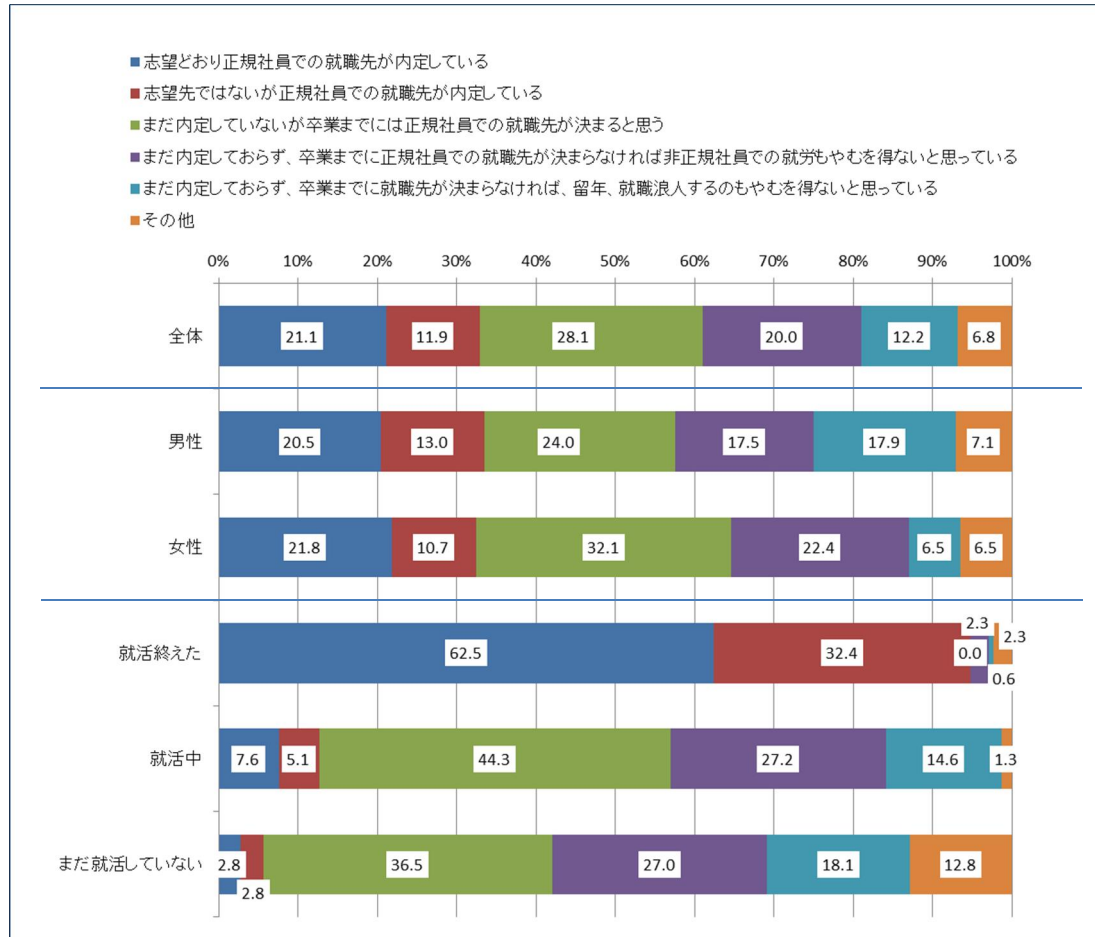
職業能力には非常に自信がある	職業能力にはやや自信がある	どちらともいえない	職業能力にはあまり自信がない	職業能力にはまったく自信がない
7.3	27.5	34.0	23.3	7.9

Q. あなたは自身の職業能力について、どの程度自信がありますか。
(1つだけ)

4. 就職活動の見通し

- 今回の調査時点で、「すでに就活を終えた」学生は、84.9%が「正規社員」で就職先が内定している。
- しかし、「現在就活中」の学生では、「非正規社員でもやむを得ない」27.2%、「留年・就職浪人もやむを得ない」14.6%と悲観的である。
- また、「まだ就活していない」学生でも、「正規社員」で決まると思う人が4割程度に止まり、半数近くが場合によっては「非正規社員」も想定している。

図. 就職活動の見通し(n=616/%)



※参考 前回調査(n=1,120)

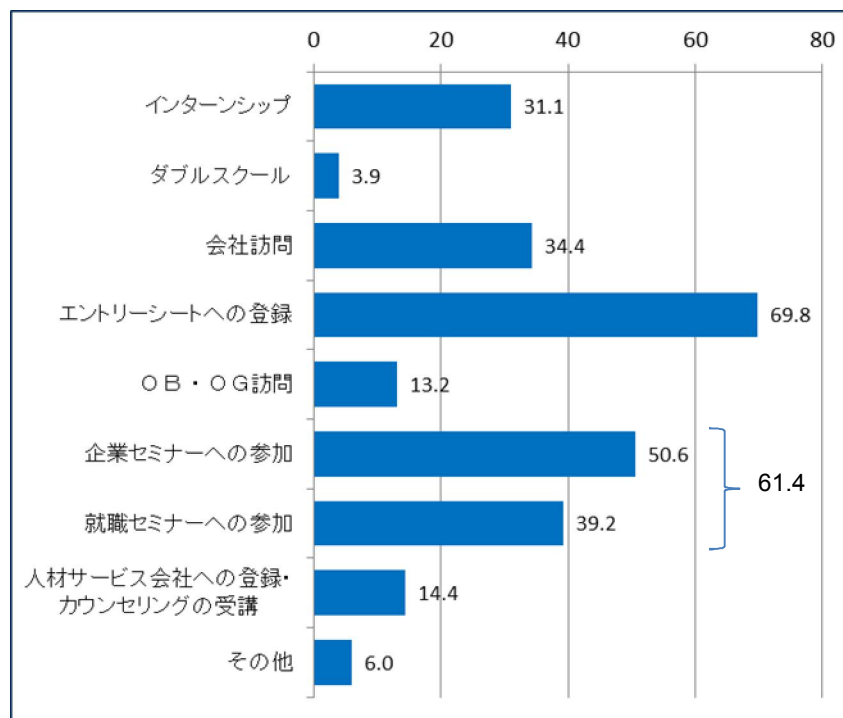
志望どおり正規社員での就職先が内定している	志望先ではないが正規社員での就職先が内定している	内定していないが卒業までには正規社員での就職先が決まると思う	正規社員が決まらなければ非正規社員での就労もやむを得ない	就職先が決まらなければ、留年、就職浪人するのやむを得ない	その他
22.6	7.5	30.6	23.6	13.1	2.6

Q. 卒業後、就職できる見込みはどの程度ありますか。(1つだけ)

1. 就職活動内容 ①就職活動方法

- 現在就職活動を行っている、または就職活動が終わった学生の就職活動内容は、「エントリーシートへの登録」69.8%が最も多く、次いで「企業セミナーへの参加」50.6%、「就職セミナーへの参加」39.2%といったセミナー系であった。
- また、「会社訪問」34.4%や「インターンシップ」31.1%といった企業への参加型も3割を超えた。
- 「インターンシップ」への参加は前回調査より若干増加しているが、「セミナー系」は前回からほぼ横ばいの参加率であった。

図. 就職活動方法 (n=334/%)



※参考

前回調査
n=695
24.2
3.5
40.9
69.6
13.4
62.0
14.1
5.6

Q. あなたは、どのような就職活動をしていますか（しましたか）。
（いくつでも）

1. 就職活動内容 ②就職活動社数(参加回数)

- インターンシップの参加企業社数は、1社が66.3%で複数社参加している人は4割に満たない。
- 「就職セミナー」への参加回数は、参加者の多くが複数参加しているものの、それほど回数は多くない。
- 一方「企業セミナー」へ参加した学生は、10社以上が7割を占め、50社以上参加している学生もいる。

図. インターンシップ参加数(n=104/%)

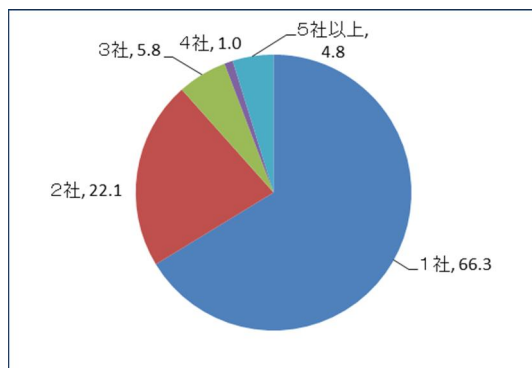


図. 会社訪問数(n=115/%)

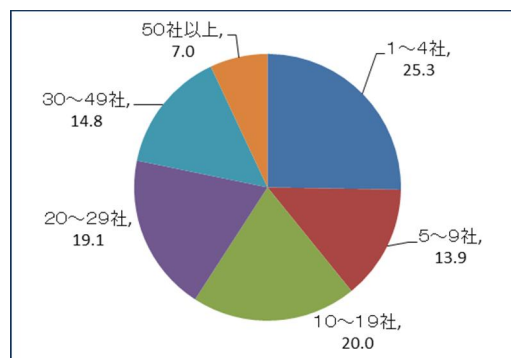


図. エントリーシート登録数(n=233/%)

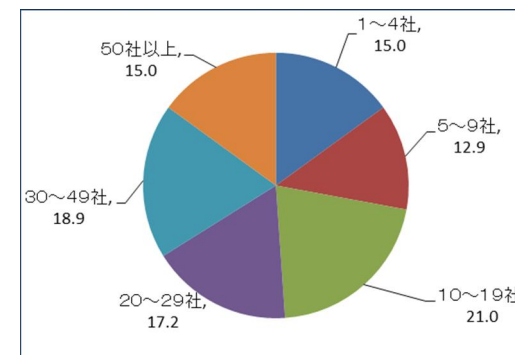


図. OB・OG訪問数(n=44/%)

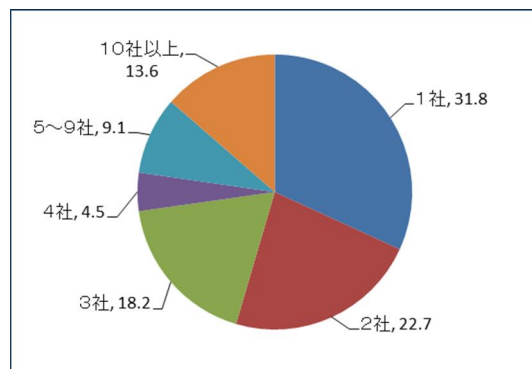


図. 企業セミナーへの参加社数(n=169/%)

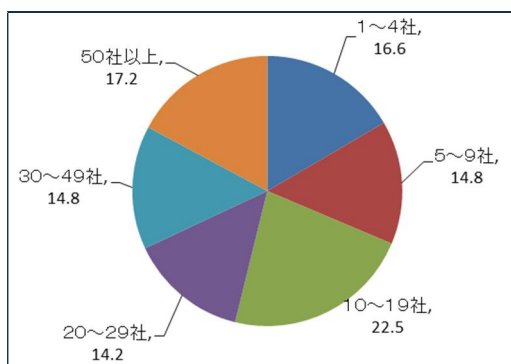
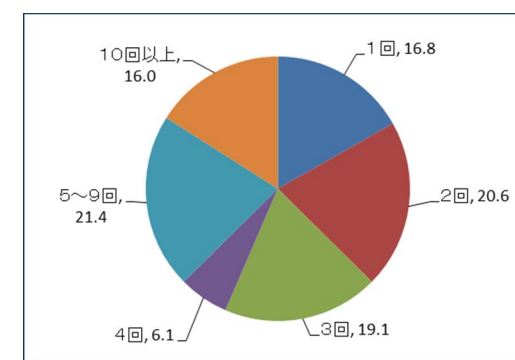


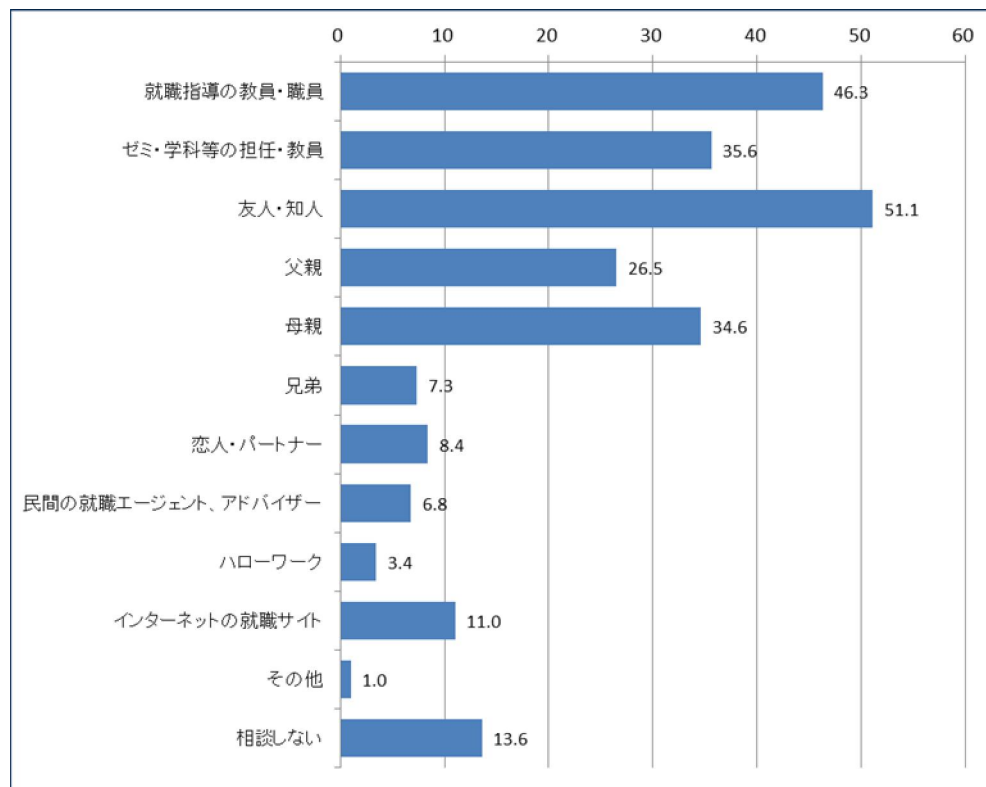
図. 就職セミナーへの参加回数(n=131/%)



2. 就職活動の主な相談相手

- 就職活動の相談相手として、最も多いのは「友人」51.1%であり、次いで「就職指導の教員・職員」46.3%であった。
- また、「ゼミ・学科等の担任・教員」35.6%や、「母親」34.6%、「父親」26.5%も多く選ばれた。
- この傾向は、前回調査と変わらない。

図. 就職活動の相談相手(n=616/%)



※参考

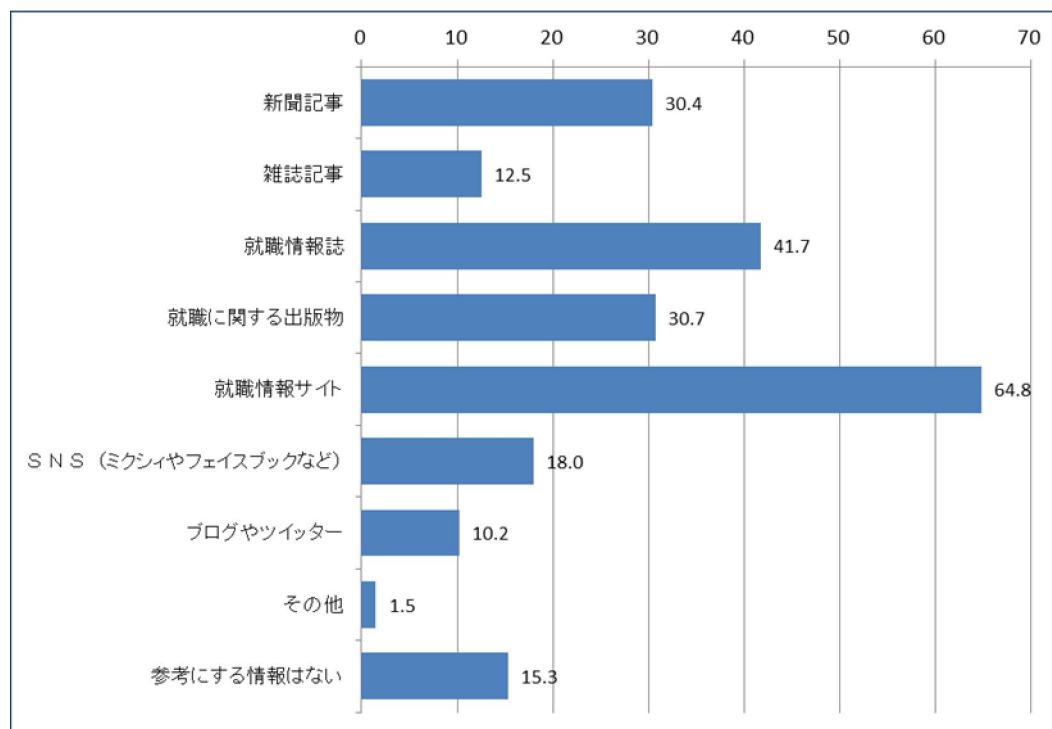
前回調査
n=1120
51.5
40.4
63.5
32.3
44.7
9.9
15.6
5.8
5.6
6.9
16.8
1.5
9.5

Q. あなたは、就職活動をする際、主に誰に相談しますか。(いくつでも)

3. 就職活動で参考にする情報源

- 就職で参考にする情報は、圧倒的に「就職情報サイト」64.8%である。
- 「就職情報誌」41.7%や「就職に関する出版物」30.7%も多いが、「就職情報サイト」と比べると半分から2/3程度である。
- この傾向は、前回調査でも変わらない。

図. 就職活動で参考にする情報(n=616/%)



※参考

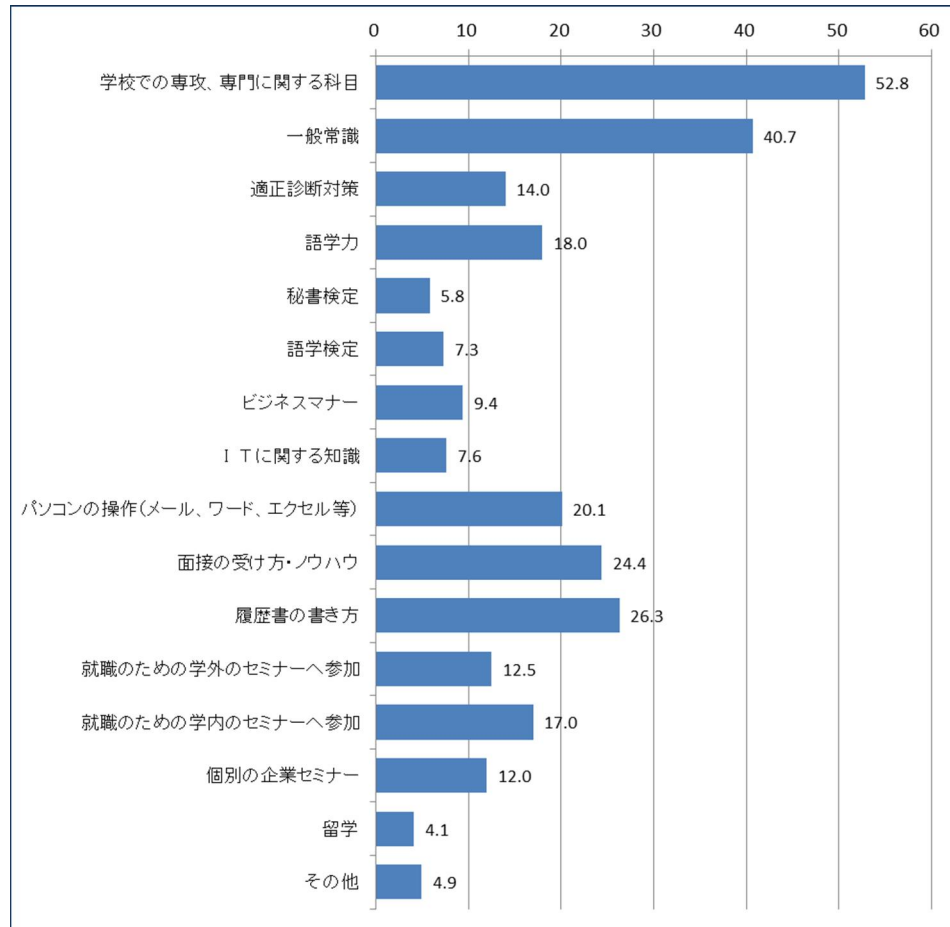
前回調査
n=1120
40.6
19.9
48.3
37.1
70.7
18.8
12.7
4.0
10.7

Q. あなたが、就職活動をする際、どのような情報を参考にしますか（しましたか）。次にあげる情報の中で、あなたが参考にする情報をお選びください。（いくつでも）

4. 就職・就労で評価を得るための準備

- 学卒後の就職に向けた準備としては、「学校での専攻、専門に関する科目」が52.8%と過半数を超え、次いで「一般常識」40.7%が高いが、前回調査と比較すると若干下がっている。
- 「履歴書の書き方」26.3%、「面接の受け方・ノウハウ」24.4%なども1/4程度の学生が準備しており、前回調査と傾向は変わらない。

図. 学卒後の就職に向けた準備 (n=616/%)



※参考

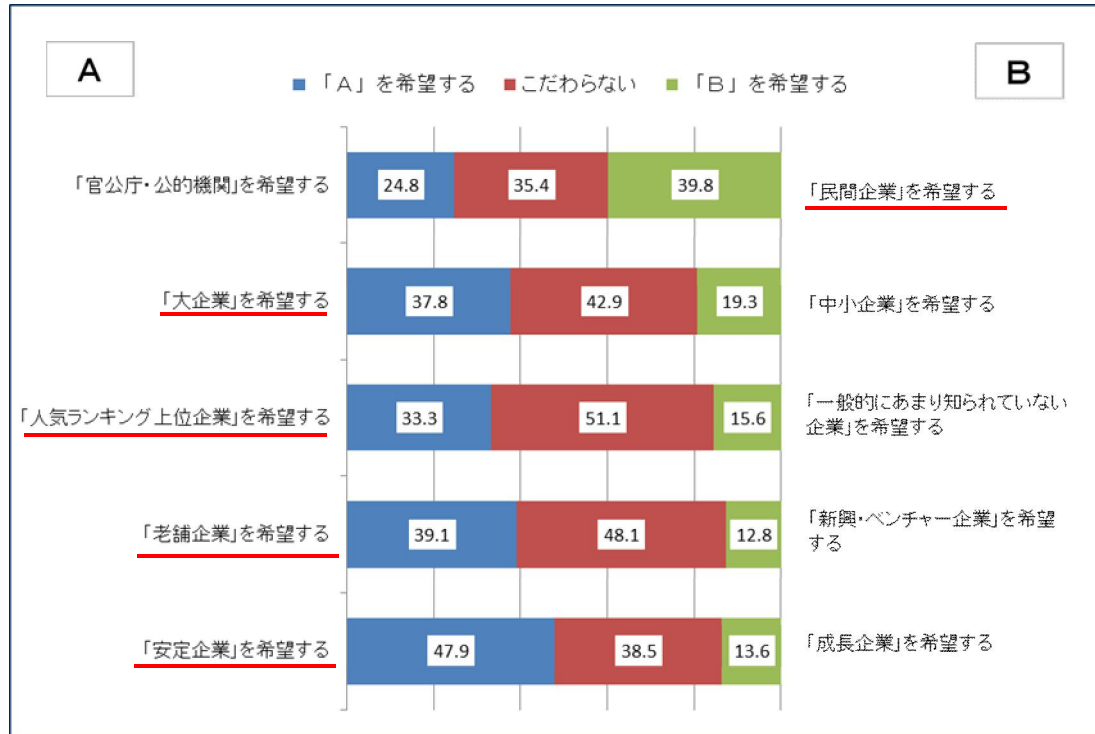
前回調査 n=1120
57.1
51.2
16.2
19.6
5.1
8.5
10.4
15.4
25.4
30.0
33.7
12.3
3.5
4.8

Q. あなたは、就職活動中、または、学卒後の就職へ向けて、どのような準備をしていますか(しましたか)。(いくつでも)

5. 就職を希望する企業のタイプ

- 2つの企業タイプからどちらを選択するか、前回調査と同様に聴いたところ、「こだわらない」率が、すべての企業タイプで減少している。
- 提示した中で多く選択されたタイプは、「安定企業」「民間企業」「老舗企業」である。

図. 就職希望企業(2つの企業タイプから選択)(n=616/%)



※参考

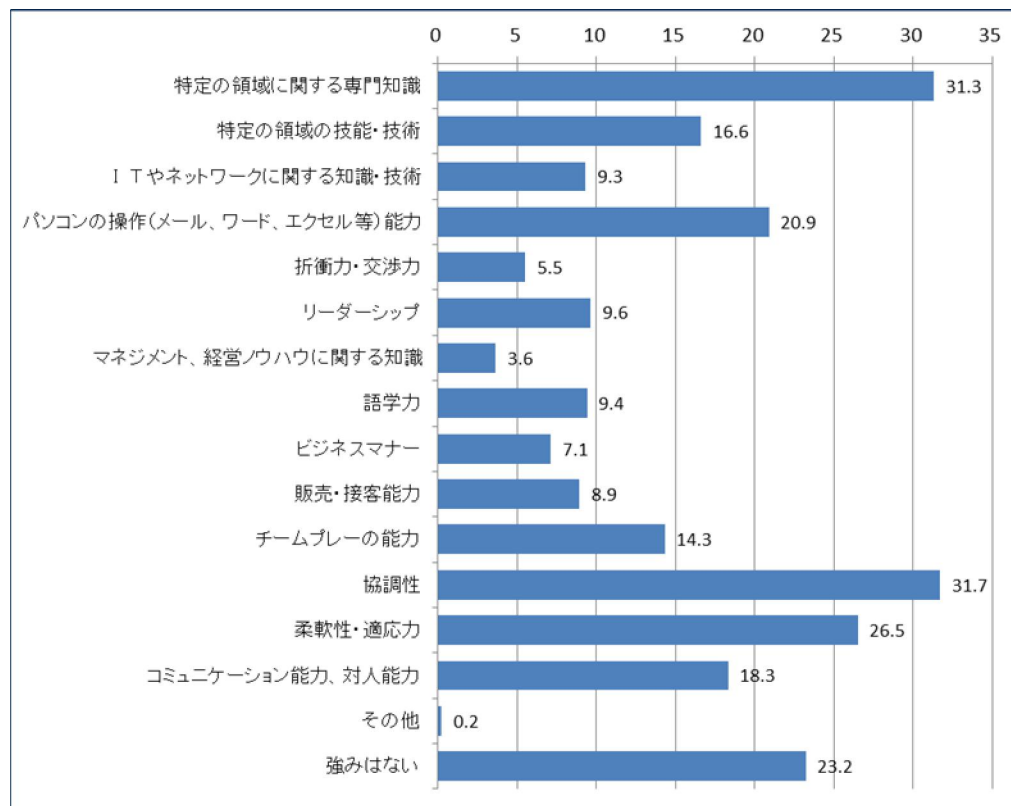
前回調査 n=1120		
Aを希望する	こだわらない	Bを希望する
25.8	36.5	37.7
32.9	49.0	18.1
28.7	56.6	14.7
30.9	56.4	12.7
40.5	43.2	16.3

Q. あなたは、就職先として、AとBのどちらを希望しますか。(1つずつ)
 ※すでに内定を受けている方も希望でお答えください

6. 学生が自認する職業能力の強み

- 自身の職業能力の強みが「ない」と回答した学生が、23.2%に及んだ。これは、前回調査と比較しても高い数字である。
- 各項目においては、前回調査とほぼ傾向は同じだが、「協調性」「柔軟性・適応力」「コミュニケーション能力・対人能力」などが前回と比較してマイナスが大きい。

図. 職業能力の自身の強み(n=616/%)



※参考

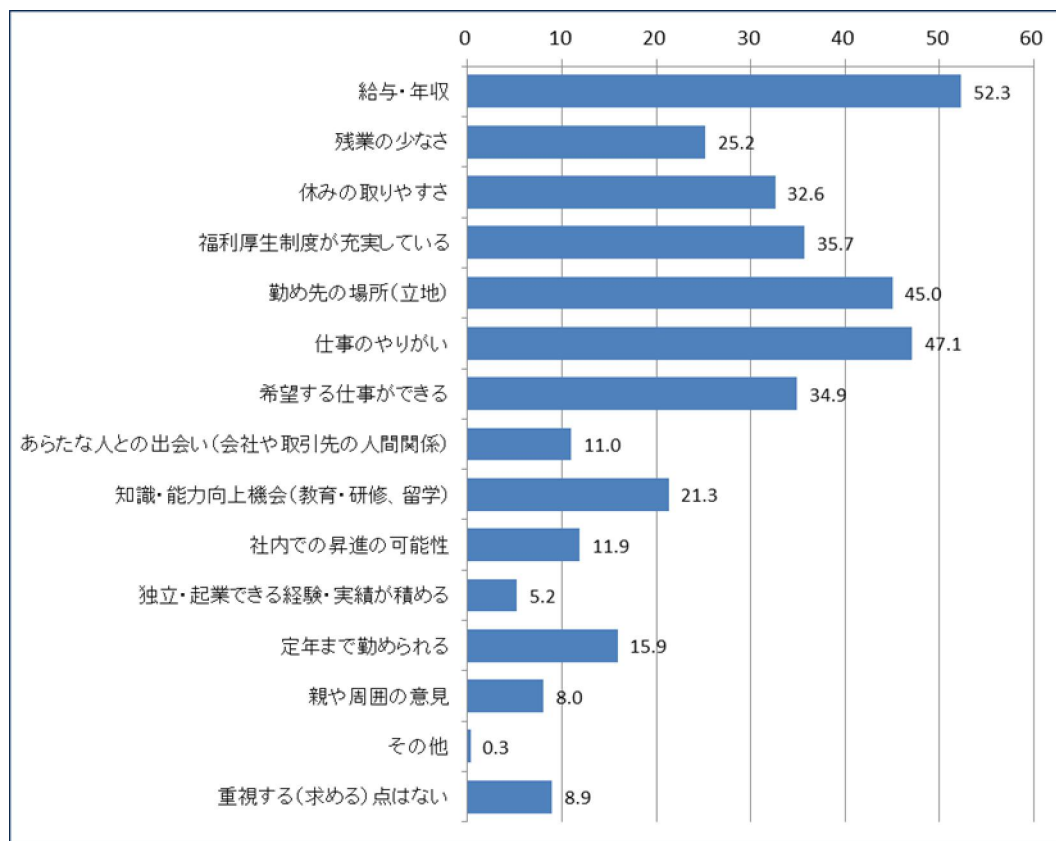
前回調査
n=1120
30.7
17.0
14.1
26.9
7.4
14.1
5.3
10.3
6.1
14.2
24.7
45.6
39.6
30.4
1.1
12.9

Q. 次にあげる職業能力それぞれについて、あなたご自身の「強味」だと思うことをいくつでもお選びください。(いくつでも)

7. 就労にあたっての重視点

- 就労上の重視点として多く挙げられた項目は、前回調査と変わりなく「給与・年収」「仕事のやりがい」である。
- 前回調査と比較して、傾向に大きな変化はない。

図. 就労上の重視点(n=616/%)



※参考

前回調査
n=1120
65.3
21.3
39.6
51.3
50.3
64.6
44.6
26.2
33.8
15.8
7.1
23.5
11.1
0.8
3.2

Q. あなたが就労にあたって、重視する(求める)点は何ですか。(いくつでも)

1. インターンシップの参加率

- 現在就職活動を行っている、または就職活動が終わった学生に、就職活動内容を聞いたところ、インターンシップには、31.1%の学生が参加している。
- 大学の所在地別で見ると、首都圏・東海に比べ近畿で低い参加率(25.0%)であった。また、親との同居別では「非同居」、職業能力の自己評価では「自信なし」で低い。
- また、インターンシップの参加企業社数は、1社が66.3%で複数社参加している人は4割に満たない。

図. 就職活動内容(n=334/%)

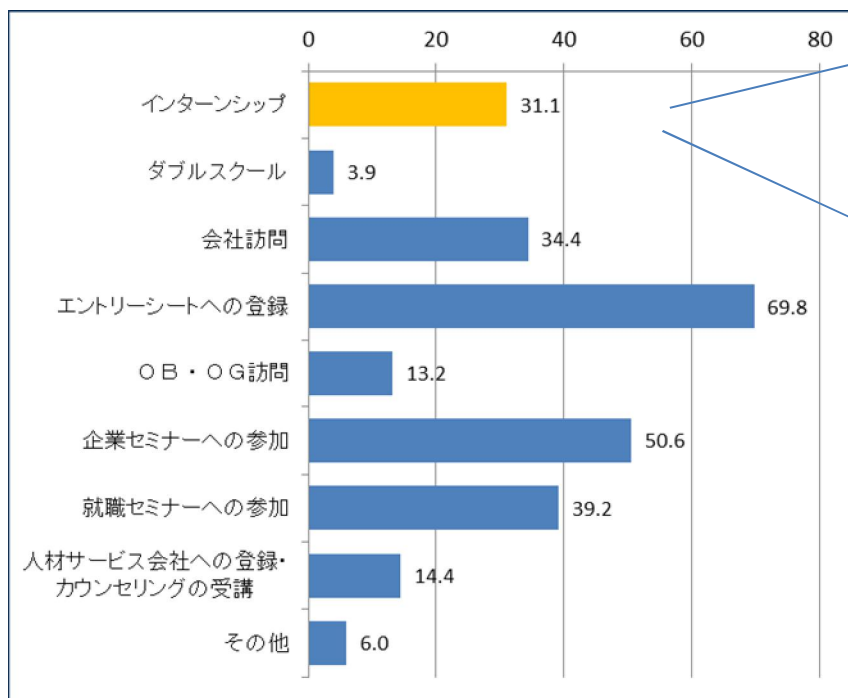
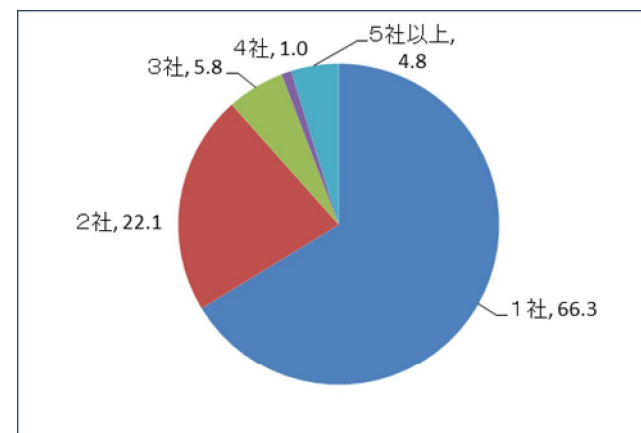


表. 属性別のインターンシップ参加率(n=334/%)

		n	%
【大学所在地別】	首都圏	189	33.9
	近畿	96	25.0
	東海	49	32.7
【親との同居】	同居	235	34.0
	非同居	99	24.2
【職業能力の自己評価】	自信あり	103	39.8
	どちらともいえない	127	28.3
	自信なし	104	26.0

図. インターンシップ参加社数(n=104/%)



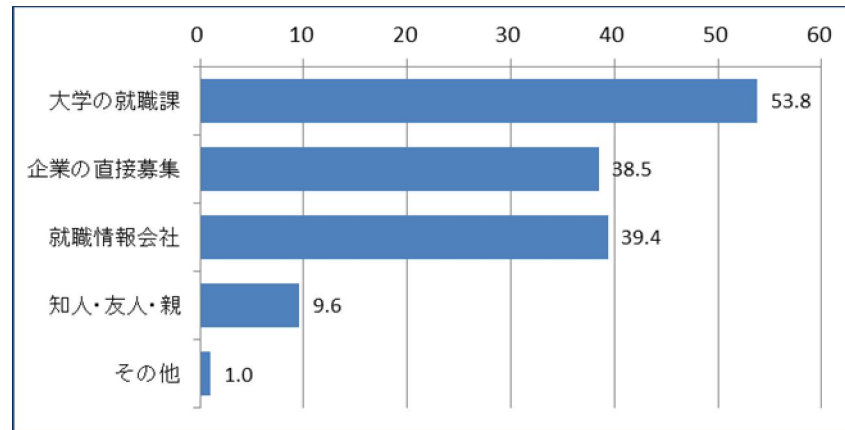
平均:1.59社

Q. あなたは、どのような就職活動をしていますか(しましたか)。(いくつでも)

2. インターンシップ情報の入手先

- 就活学生は、インターンシップの情報はどこから入手しているのか。
- 「大学の就職課」が53.8%と最も多いが、「就職情報会社」も39.4%で、「企業の直接募集」38.5%を上回った。

図. インターンシップ情報の入手先 (n=104/%)

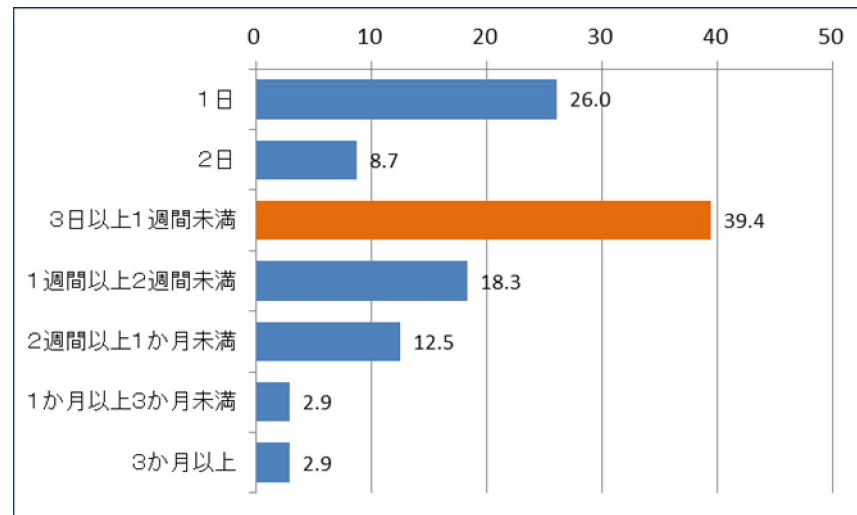


Q. 参加したインターンシップの情報はどこから得ましたか。(いくつでも)

3. インターンシップの参加期間

- インターンシップの参加期間は、「3日以上1週間未満」が39.4%と最も多く、「1日」の「短期」が26.0%と続く。
- 「1週間以上2週間未満」も18.3%あったが、「1か月以上」の「長期」は少ない。

図. インターンシップの参加期間(n=104/%)

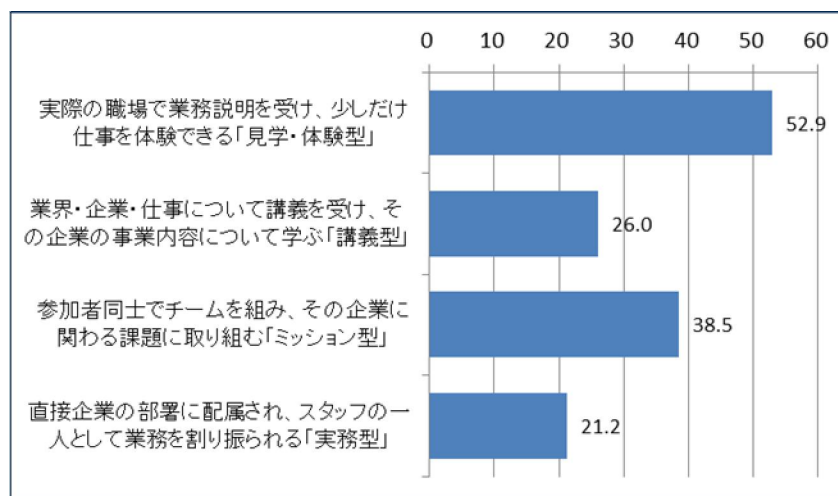


Q. インターンシップの参加期間はどれくらいでしたか。
複数参加された方は、参加したことのある「期間」をすべてお知らせください。
(いくつでも)

4. インターンシップで参加したプログラム

- インターンシップで参加したプログラムは「見学・体験型」が52.9%で最も多く、「ミッション型」38.5%、「講義型」26.0%、「実務型」21.2%を上回った。

図. インターンシップで参加したプログラム(n=104/%)

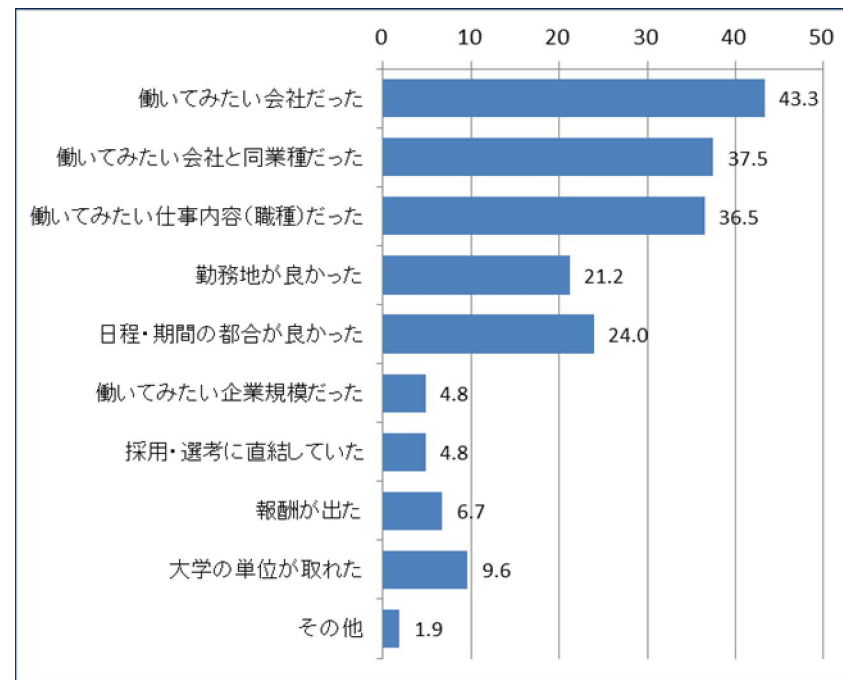


Q. 参加したインターンシッププログラムはどのようなタイプでしたか。
(いくつでも)

5. インターンシップ先企業の選択理由(メインの1社について)

- インターンシップ先の企業を選んだ理由は、“働いてみたい”「会社」、「業種」、「職種」が3~4割で高い。勤務地や日程の都合が約2割である。
- 「報酬」や「単位取得」を選択理由に挙げた学生は、1割未満であった。

図. インターンシップ先企業の選択理由(n=104/%)

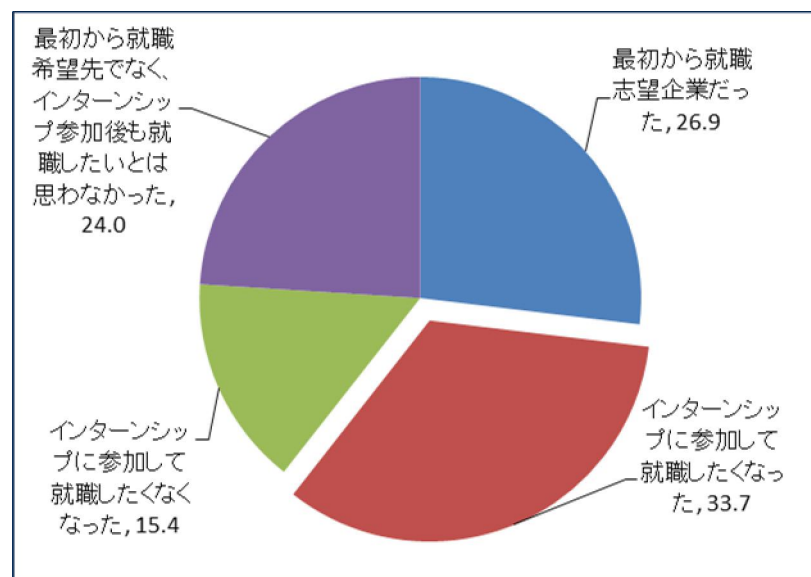


Q. インターンシップ先の企業を選んだ理由をすべてお知らせください。
(いくつでも)

6. インターンシップ後の就職意向変化(メインの1社について)

- インターンシップに参加した企業について、その後の就職意向の変化を聞いた。
- 「参加して就職しなくなった」人が33.7%と、3人に1人がプラスに転じている。逆に「参加して就職しなくなった」人は15.4%と少ない。
- 参加したことでプラスのイメージになっている学生が多く、この意識の変化は、インターンシップの参加価値が高いことを意味している。
- また、「最初から志望企業だった」人も26.9%あり、逆に「希望先でなく」インターンシップに参加した人も24.0%出現した。

図. インターンシップ後の就職意向変化(n=104/%)

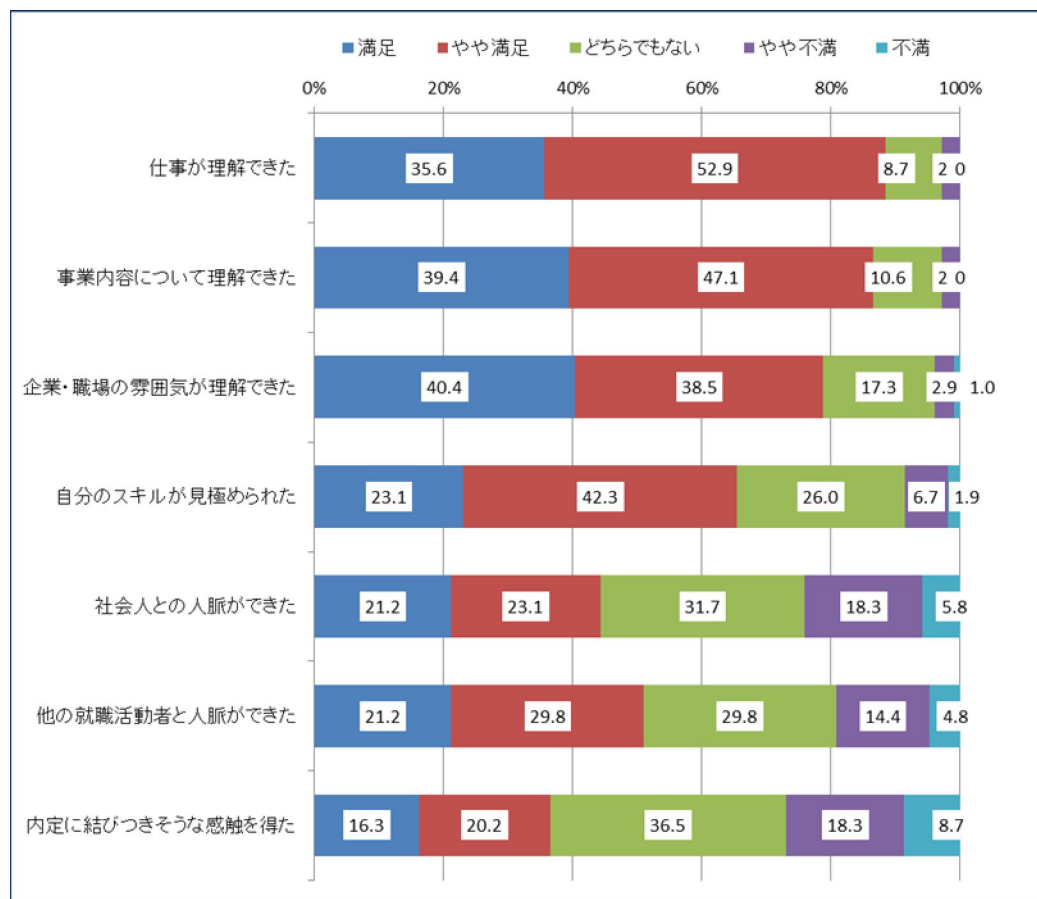


Q. インターンシップに参加した企業に就職したいと思いましたか。(1つだけ)

7. インターンシップの満足度(メインの1社について)

- インターンシップに参加して、最も満足度が高かったのは「仕事が理解できた」で88.5%(満足+やや満足)。続いて「事業内容について理解できた」86.5%。
- 「企業・職場の雰囲気が理解できた」も満足度が高く、「満足」だけで40.4%に上る。
- 逆に満足度が低かったのが「内定に結びつきそうな感触を得た」27.0%(不満+やや不満)、「社会人との人脈ができた」24.1%である。

図. インターンシップの満足度(n=104/%)

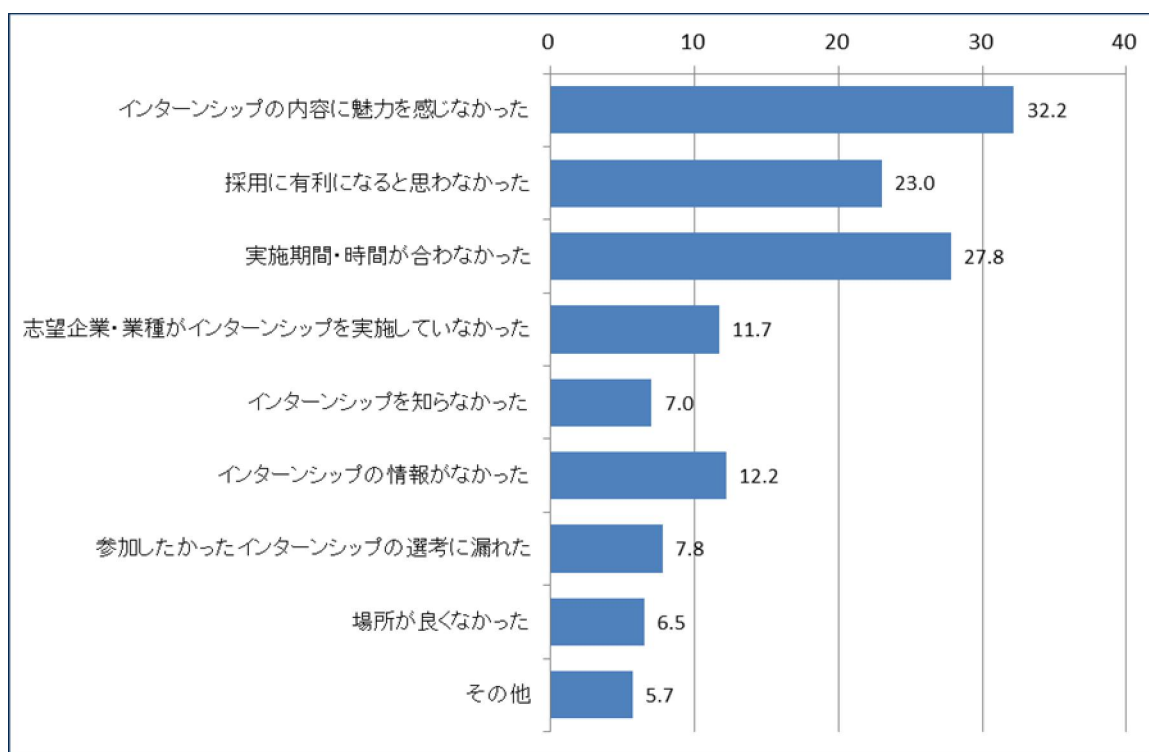


Q. インターンシップに参加してそれぞれの点での満足度を教えてください。(1つずつ)

8. インターンシップ不参加の理由(不参加者のみ)

- インターンシップに参加しない(しなかった)理由で、最も多かったのは「内容に魅力を感じなかった」32.2%であり、「採用に有利になると思わなかった」も23.0%と比較的高い。
- 「期間が合わなかった」27.8%、「実施していなかった」11.7%、「選考に漏れた」7.8%など、参加意向とは関係のない物理的な理由も多く挙がった。
- 大学の所在地別にみると、「インターンシップを知らなかった」「情報がなかった」の項目で、首都圏に比べ、近畿・東海が高い。
- また、「実施期間・時間が合わなかった」のは、「東海エリア」「国公立」「文系」の学生が多い。

図. インターンシップ不参加の理由(n=230/%)



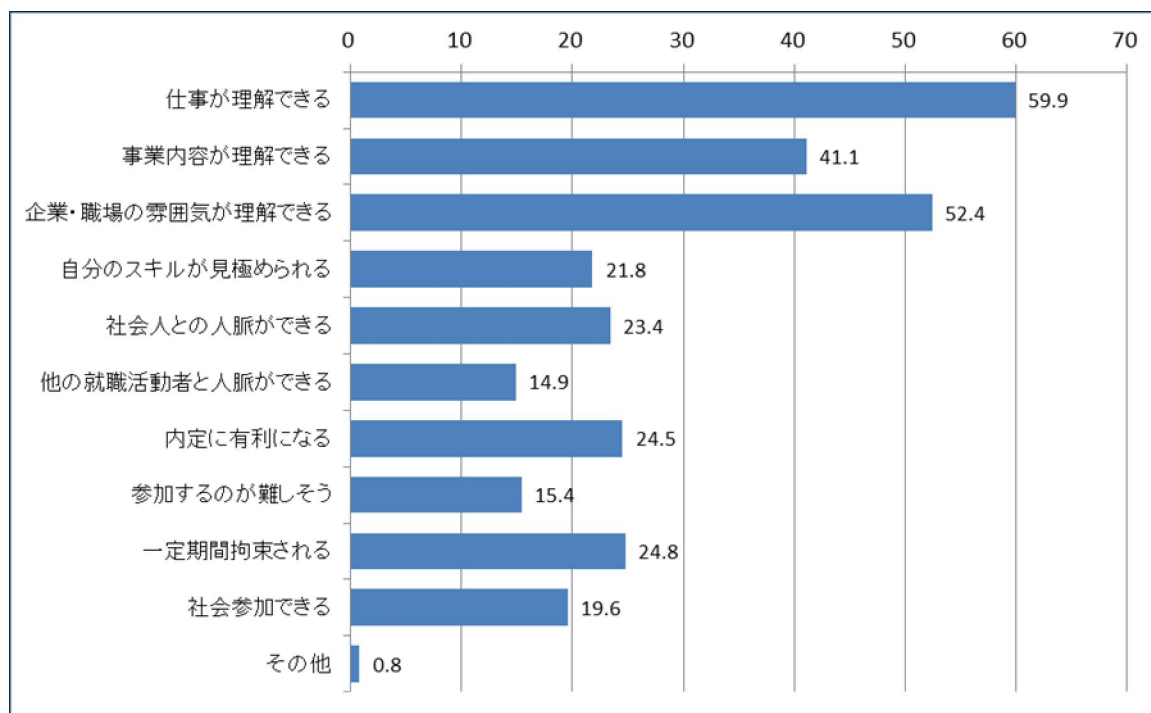
首都圏	【大学所在地別】			【学校種別】			【専攻】	
	近畿	東海		国立	公立	私立	文系	理系
32.0	34.7	27.3		28.3	33.3	33.1	34.8	28.9
24.8	20.8	21.2		23.9	28.6	22.1	22.2	25.6
26.4	25.0	39.4		34.8	33.3	25.2	30.4	23.3
12.8	9.7	12.1		10.9	9.5	12.3	11.1	12.2
3.2	12.5	9.1		6.5	4.8	7.4	5.9	8.9
7.2	19.4	15.2		15.2	9.5	11.7	11.9	13.3
11.2	4.2	3.0		10.9	4.8	7.4	8.1	7.8
5.6	6.9	9.1		2.2	-	8.6	6.7	5.6
7.2	4.2	3.0		4.3	9.5	5.5	4.4	6.7

Q. あなたが、インターンシップに参加しなかった理由をすべてお知らせください。(いくつでも)

9. インターンシップのイメージ(全員への質問)

- インターンシップは、「仕事」59.9%、「事業内容」41.1%、「企業・職場の雰囲気」52.4%が理解できるといったイメージが高い。
- 「社会人との人脈ができる」14.9%、「内定に有利」24.5%などは、あまり期待されていないようだ。
- インターンシップの体験者と非体験者と比較すると、体験者でより高いのは「仕事が理解できる」「事業内容が理解できる」「他の就職活動者と人脈ができる」であり、非体験者は「参加するのが難しそう」「一定期間拘束される」といったイメージ項目で高い。

図. インターンシップのイメージ(n=616/%)



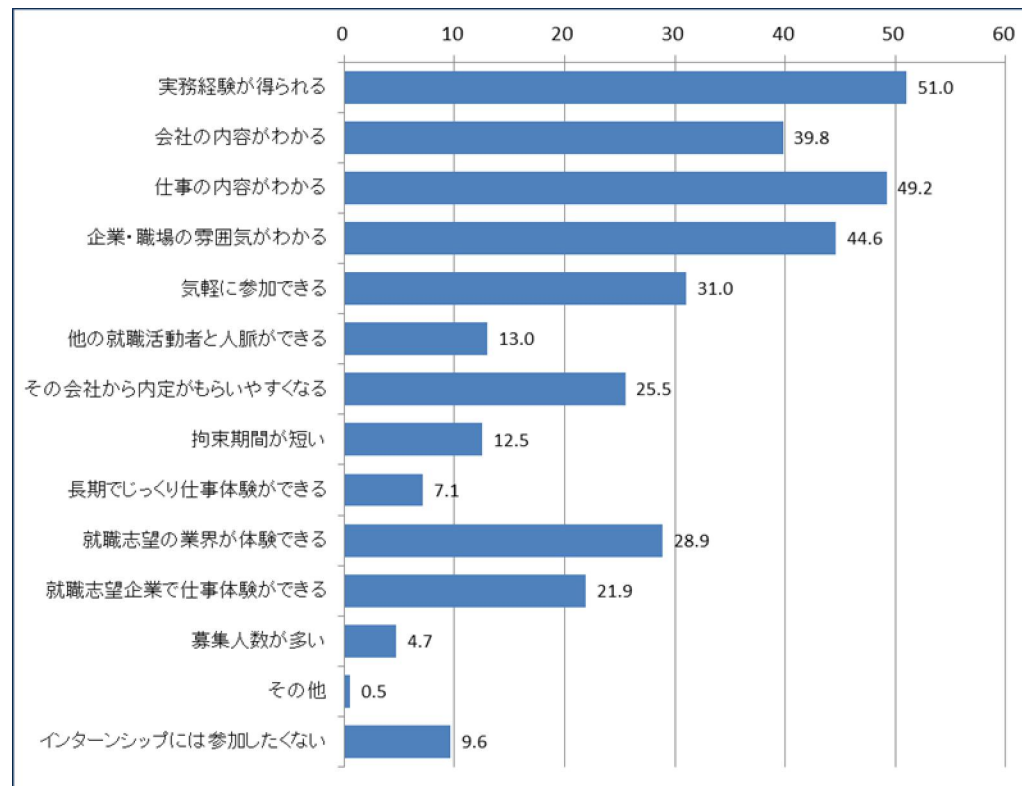
インターンシップ	
体験者	未体験者
71.2	57.6
52.9	38.7
56.7	51.6
21.2	21.9
21.2	23.8
25.0	12.9
20.2	25.4
7.7	17.0
18.3	26.2
17.3	20.1
0	1.0

Q. インターンシップと聞いてあなたが思い浮かべるイメージをすべてお知らせください。(いくつでも)

10. 参加したいインターンシップ(全員への質問)

- 参加してみたいインターンシップは、「実務経験が得られる」51.0%、「仕事の内容がわかる」49.2%、「職場の雰囲気がわかる」44.6%などが多く支持された。
- また、「業界が体験できる」28.9%、「仕事体験」21.9%も比較的多く回答された。

図. 参加したいインターンシップ(n=616/%)

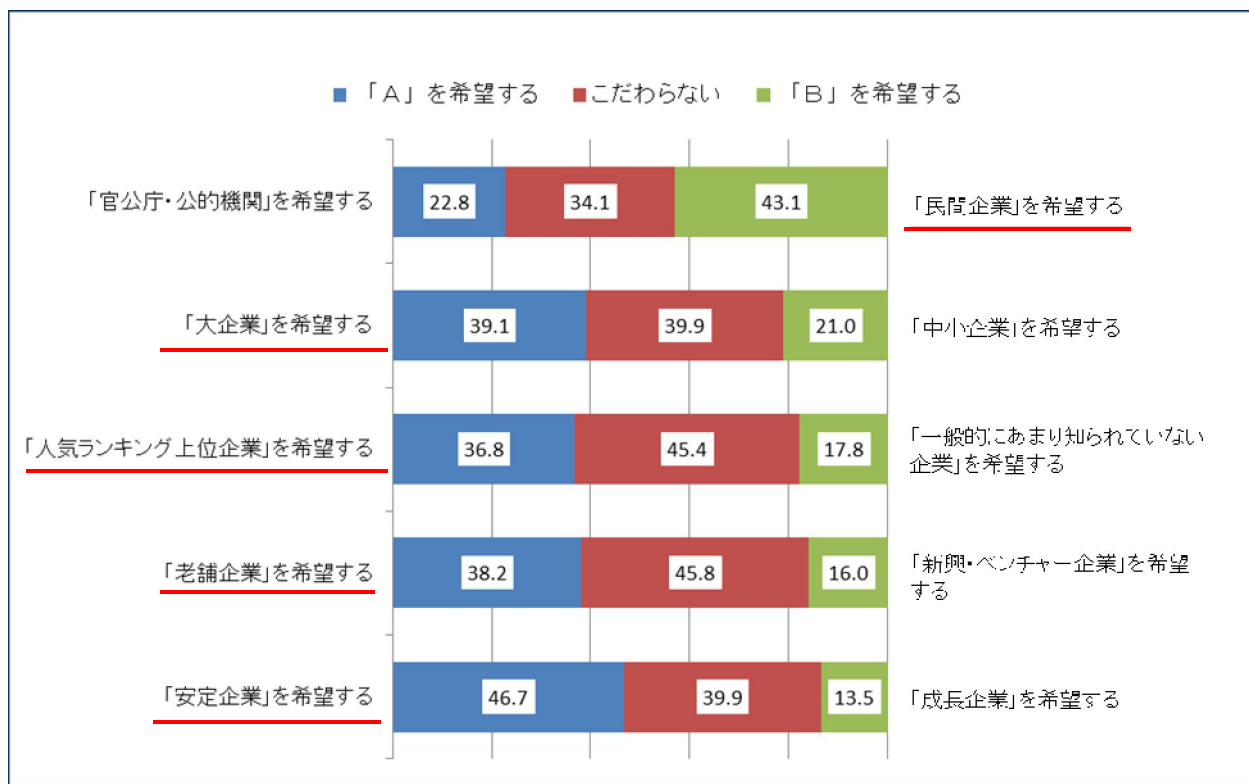


Q. あなたが参加してみたいインターンシップとはどんなものですか。次の中からすべてお知らせください。(いくつでも)

11. インターンシップに参加したい企業(参加する意欲のない人は除く)

- 相対する企業のタイプを比較させて、インターンシップに参加するならどちらを選択するかを聞いた。
- 「民間企業」「大企業」「人気ランキング上位企業」「老舗企業」「安定企業」を希望する人が、相対するタイプより多い結果であった。
- 逆にインターンシップ参加の希望が少ないのは「成長企業」「新興・ベンチャー企業」である。
- しかし、どの企業タイプでも「こだわらない」と回答した人が半数近くに及んでいることから、参加したい企業は、どのようなタイプにも及ぶと思われる。

図. インターンシップに参加したい企業(2つの企業タイプから選択)(n=557/%)

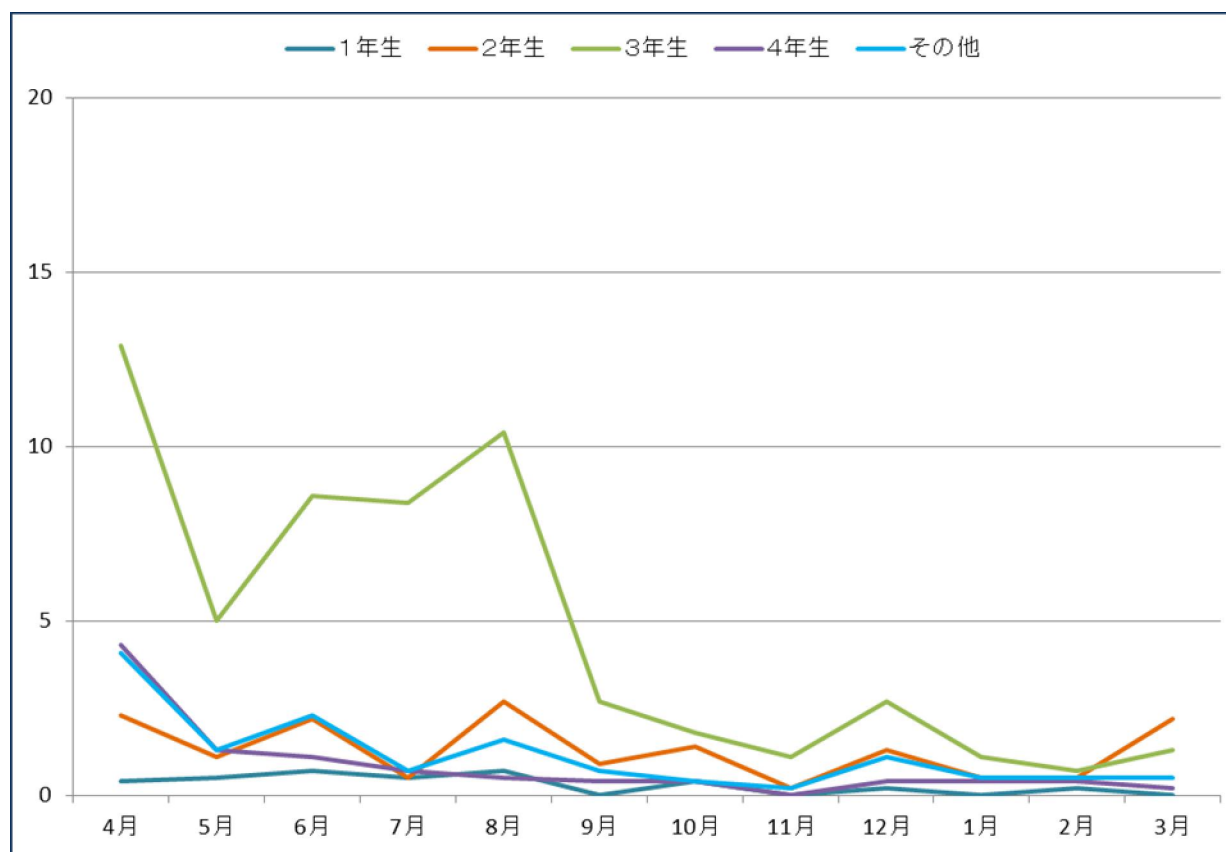


Q. あなたは、インターンシップ先として、AとBのどちらを希望しますか。(1つずつ)

12. インターンシップ先を探し始める時期 ①全体(参加する意欲のない人は除く)

- インターンシップに参加するために、その受け入れ先を探し始める時期は、3年生の4月～8月頃が多い。
- 4年生の4月も若干あるが、それ以外はどれも少ない。

図. インターンシップ先を探し始める時期(n=557/%)

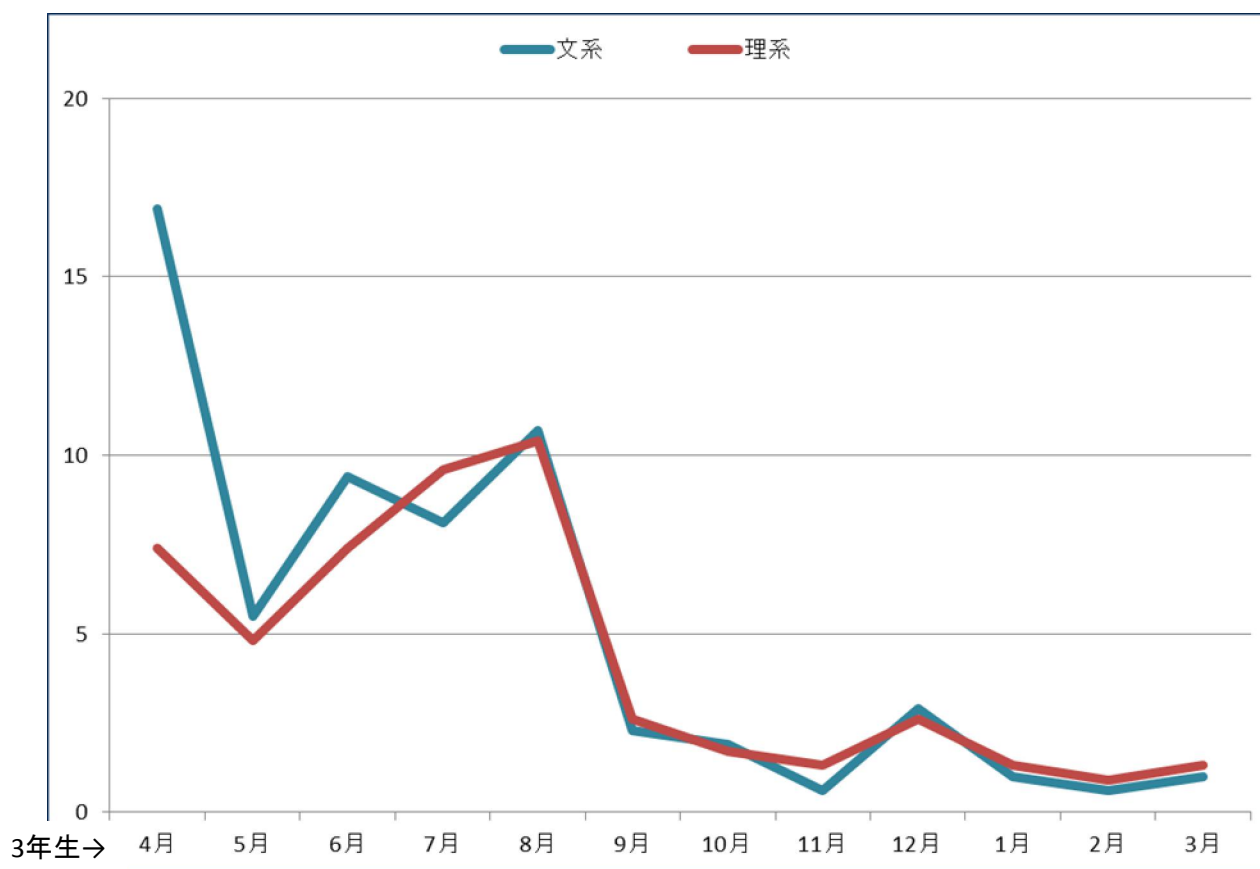


Q. インターンシップに参加するとしたら、いつ頃から探し始めますか(ましたか)。(1つだけ)

12. インターンシップ先を探し始める時期 ②3年生のみ(文・理別)

- インターンシップ先を探し始める時期は、3年生の4月～8月頃が多いが、文系では「3年生の4月」がピークで、「8月」まで続く。
- 一方、理系では「3年生の8月」がピークで、文系と比較してやや出足が遅れている。

図. インターンシップ先を探し始める時期(3年生の文・理別)(文系n=308 理系n=230/%)

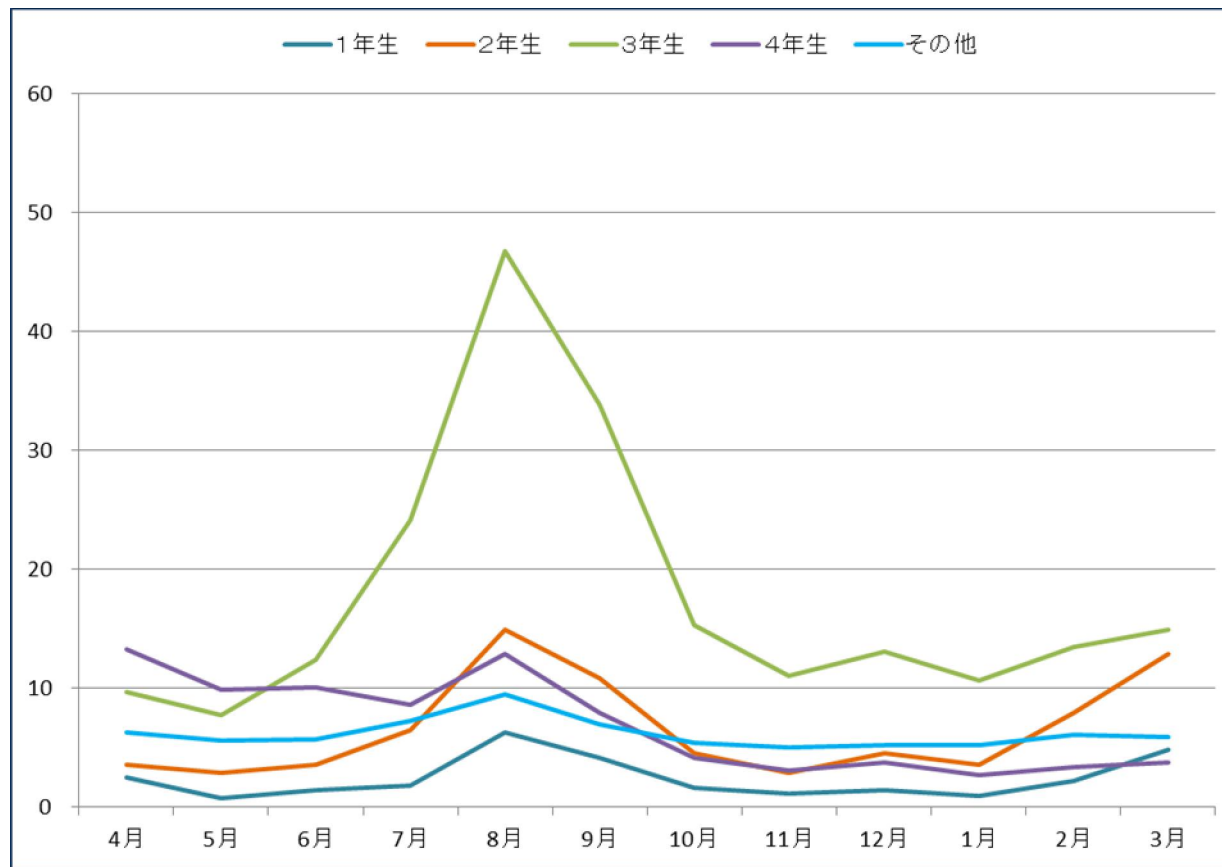


Q. インターンシップに参加するとしたら、いつ頃から探し始めますか(ましたか)。(1つだけ)

13. インターンシップの参加時期 ①全体(参加する意欲のない人は除く)

- インターンシップに参加する時期は、圧倒的に3年生の夏が多い。そのまま秋～冬にかけても10%以上の人が参加を考えている。
- それ以外では、2年生の夏、4年生の春・夏が10%強とやや高めであった。

図. インターンシップの参加時期(n=557/%)

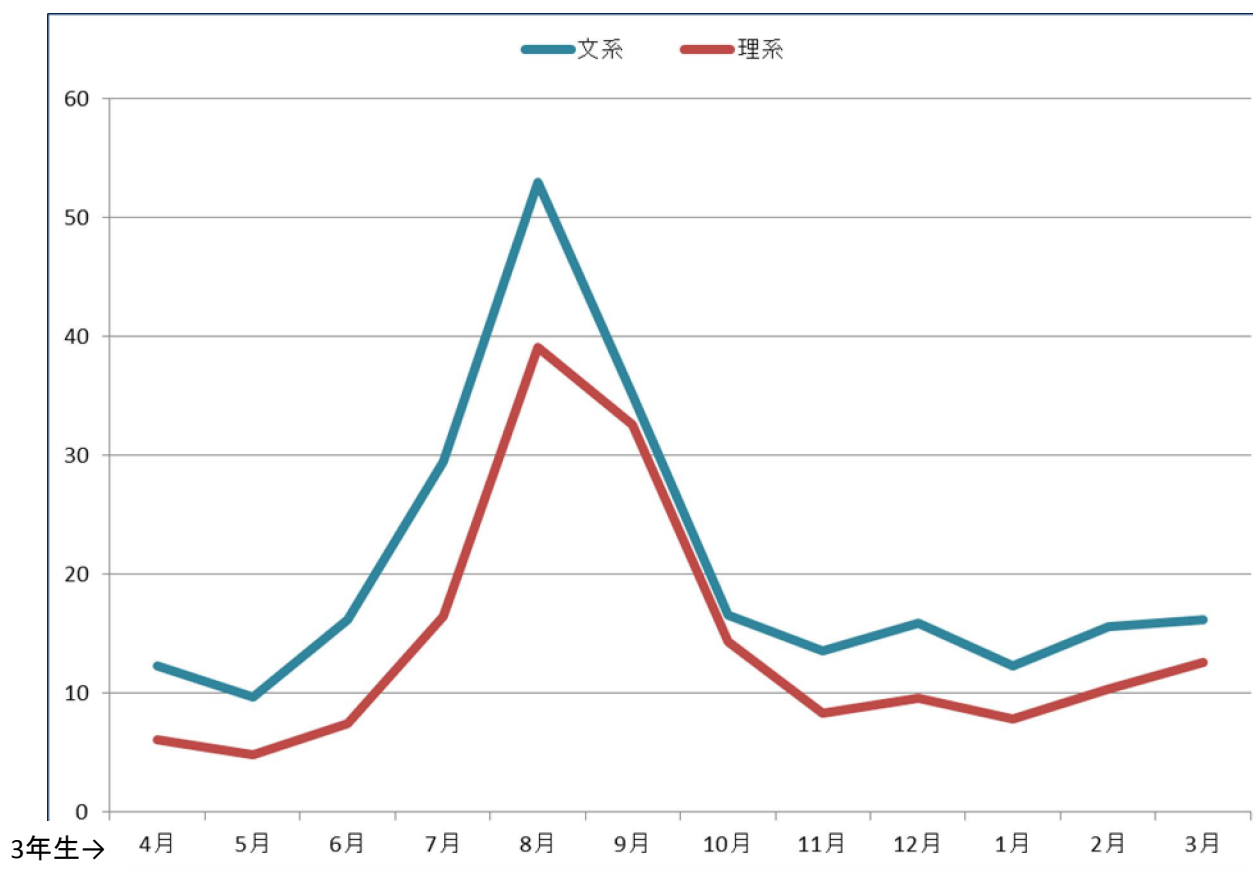


Q. インターンシップに参加するとしたら、いつ頃実施するプログラムを選択しますか(しましたか)。(いくつでも)

13. インターンシップの参加時期 ②3年生のみ(文・理別)

- 文系では「3年生の7～9月」の参加が多いが、「8月」が断然ピークとなる。
- 一方、理系では「3年生の8～9月」がピークと文系に比べやや遅れ、それ以外の時期もそれほど多くない。

図. インターンシップの参加時期(3年生の文・理別)(文系n=308 理系n=230/%)

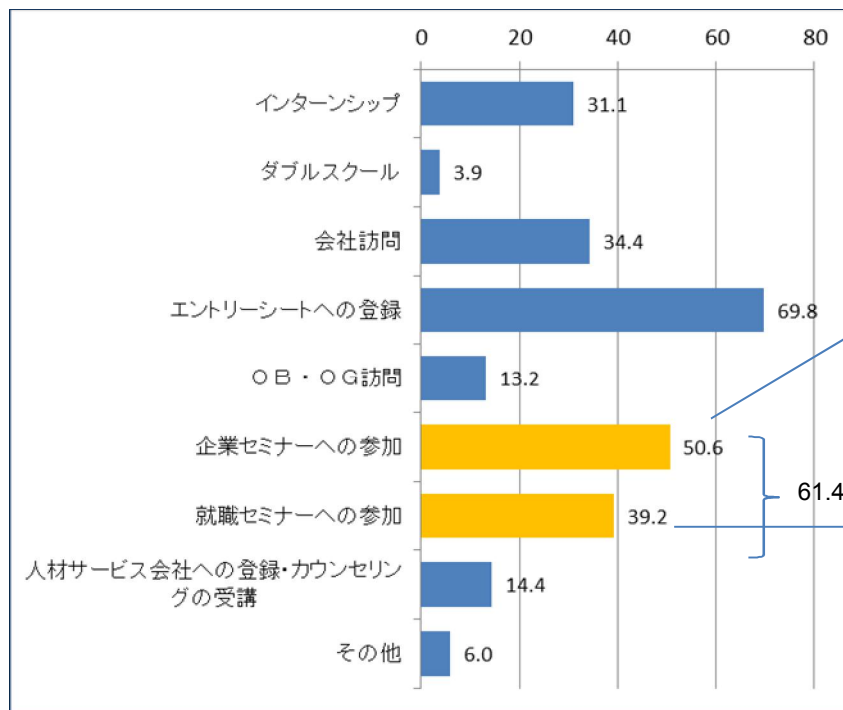


Q. インターンシップに参加するとしたら、いつ頃実施するプログラムを選択しますか(しましたか)。(いくつでも)

1. セミナーの参加率(現就活学生 & 就活終了学生)

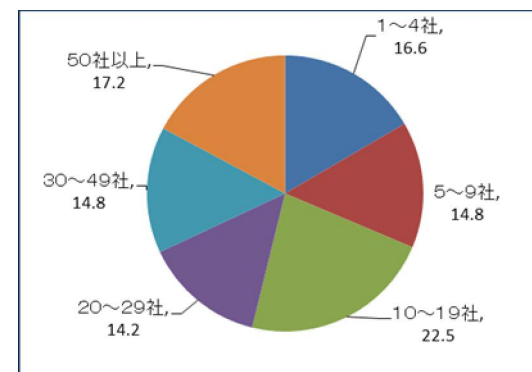
- 現就活学生、及び就活を終了した学生に、就職活動内容を聞いた。
- 「企業セミナー」への参加率は50.6%、「就職セミナー」への参加率は39.2%であり、「インターンシップ」(31.1%)、「会社訪問」(34.4%)と比較しても高い参加率であった。また、どちらか一方でも参加している学生は61.4%に及んだ。
- 「企業セミナー」の参加社数は、19社以下と20社以上で約半々、平均で21.7社である。
- 「就職セミナー」への参加回数は、10回以上も16%あるが、1~3回で56.5%を占める(平均5.0回)。

図. 就職活動内容(n=334/%)



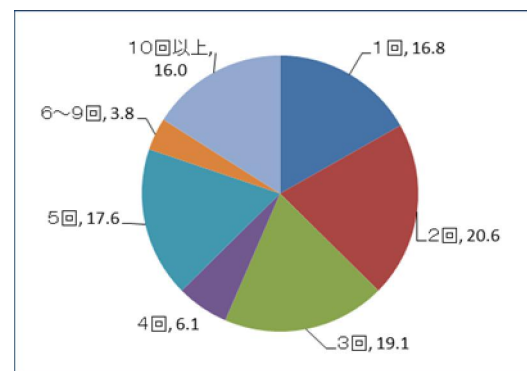
Q. あなたは、どのような就職活動をしていますか(しましたか)。(いくつでも)

図. 企業セミナー参加社数(n=169/%)



平均: 21.7社

図. 就職セミナー参加回数(n=131/%)

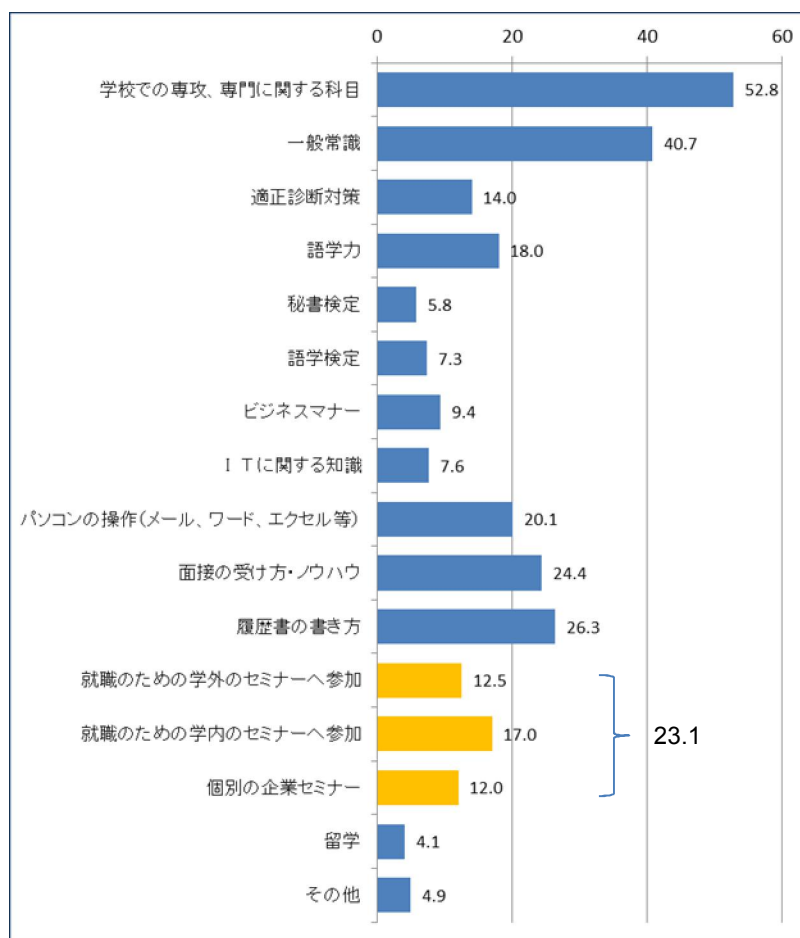


平均: 5.0回

2. 就職へ向けた準備(全員)

- 対象者全員に対し、学卒後の就職へ向けて準備している(準備した)ものを聴いた。(前ページは就活経験者ベースで、実際の就活内容を聴いている)
- 準備したものの中で、セミナー関係は「学外セミナー」12.5%、「学内セミナー」17.0%、「企業セミナー」12.0%という結果であった。また、3つのセミナーのどれか1つでも準備した人は、23.1%である。
- セミナー以外では、「専門科目」52.8%、「一般常識」40.7%が多く、また「履歴書の書き方」26.3%や「面接の受け方」24.4%など、就職試験に関するものも高い。

図. 学卒後の就職へ向けた準備(n=616/%)

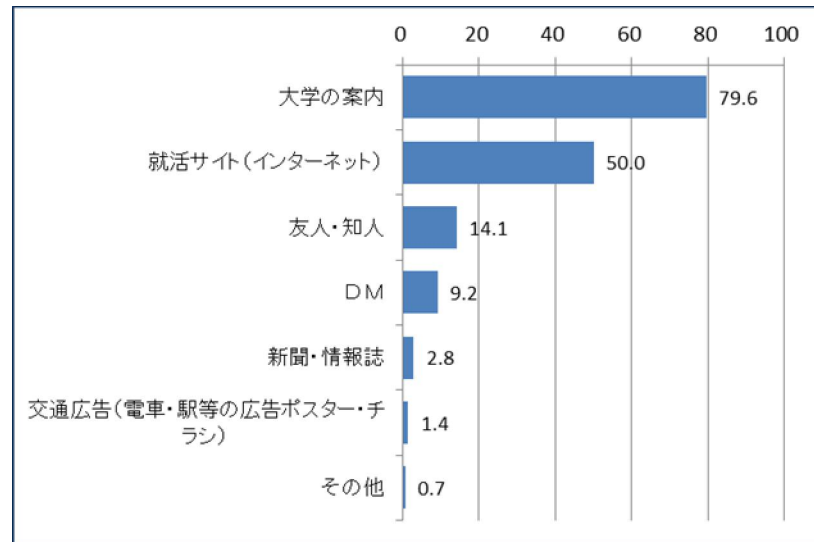


Q. あなたは、就職活動中、または、学卒後の就職へ向けて、どのような準備をしていますか(しましたか)。(いくつでも)

3. 就職セミナーの情報源(就職セミナー参加者)

- 学卒後の就職に向けた準備の中で、「セミナー関連」を選んだ人に、その情報源を聞いた。
- 「大学の案内」が約8割で圧倒的に多いが、「就活サイト」から情報を得た人も半数を占めた。

図. 就職セミナーの情報源(n=142/%)

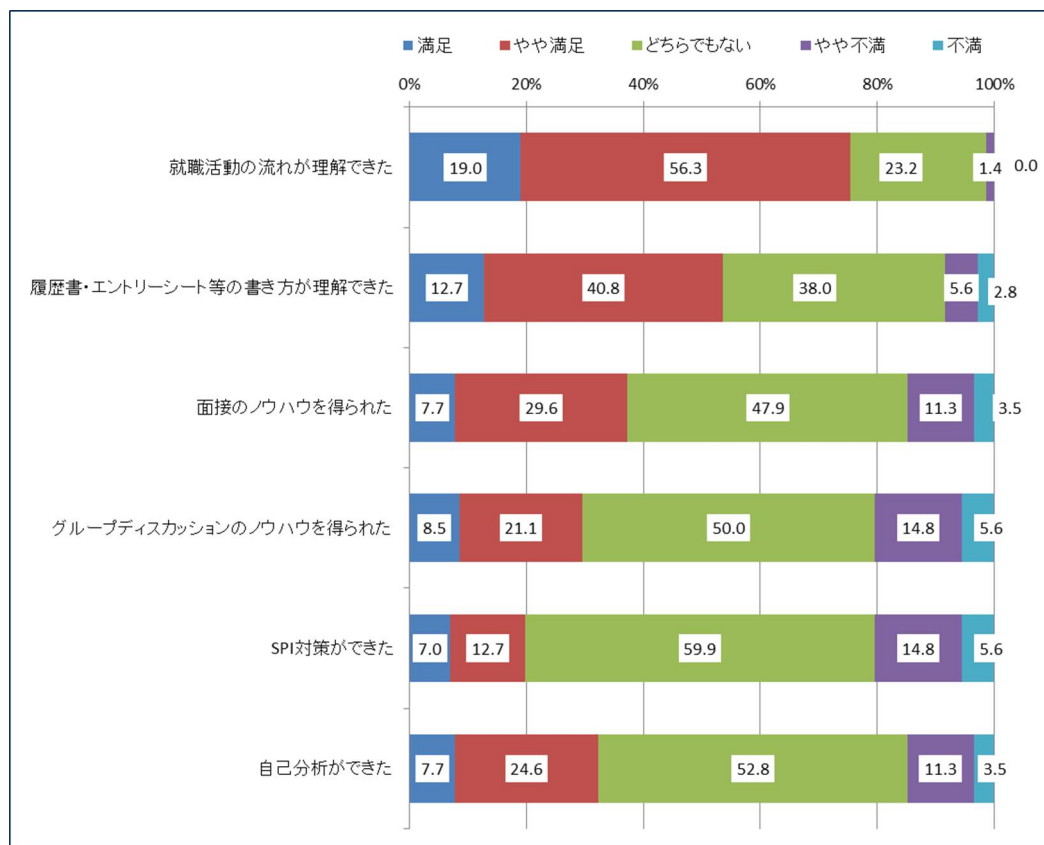


Q. あなたは、受講した就職活動セミナーを何で知りましたか。(いくつでも)

4. 就職セミナーの満足度(就職セミナー参加者)

- 就職セミナーに参加して満足したことは、「就職活動の流れが理解できた」75.6%(満足+やや満足)が、圧倒的に満足度が高い。
- 「履歴書・エントリーシートの書き方が理解できた」も半数以上が満足している。
- 一方、「SPI対策ができた」19.7%や、「グループディスカッションのノウハウを得られた」29.6%は、満足度が低い結果であった。

図. 就職セミナーの満足度(n=142/%)

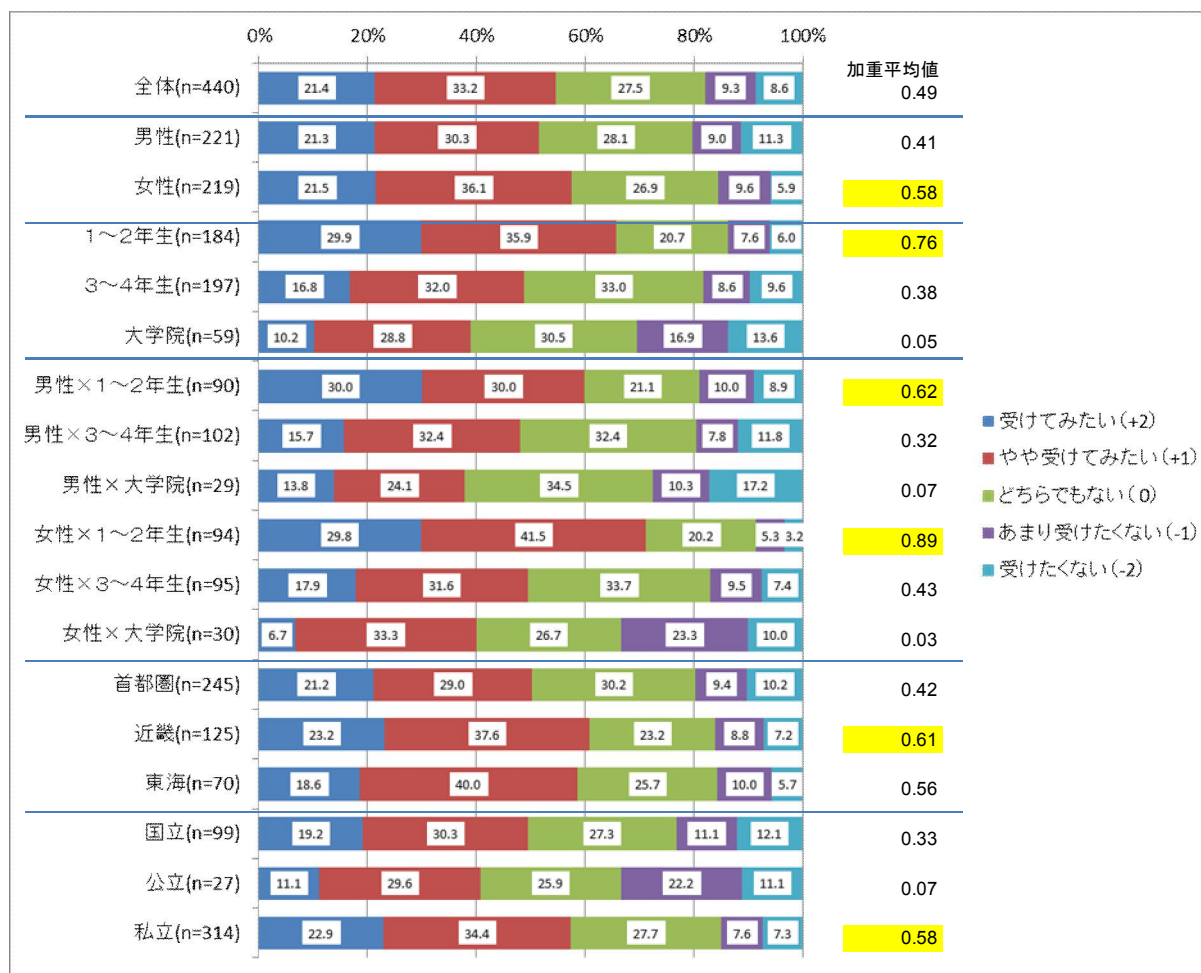


Q. 就職活動セミナーに参加して、それぞれの点での満足度を教えてください。(1つずつ)

5. 就職セミナーの参加意向(就活終了者除く)

- 現在就活中か、これから就活をする学生に、就職セミナーの参加意向を確認したところ、全体では半数以上の54.6%が「受けてみたい」と回答している。
- 属性別にみると、「女性」「1~2年生」「近畿」「私立」において、参加意向が高い傾向にある。

図. 就職セミナーの参加意向(n=440/%)

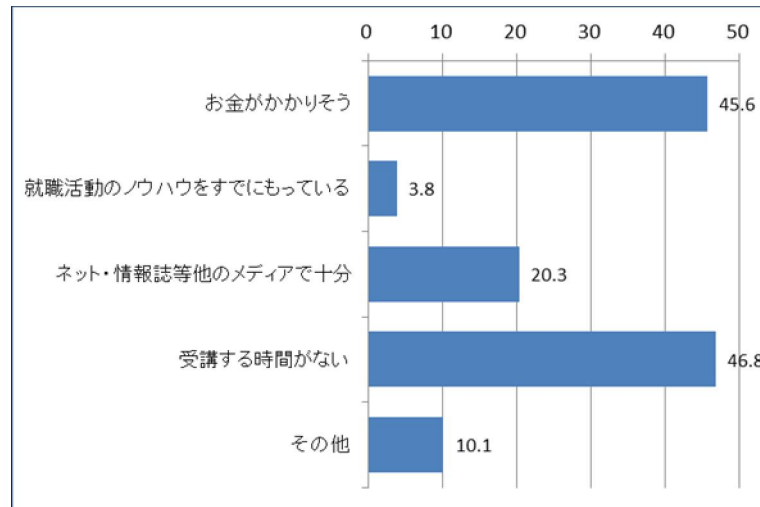


Q. あなたは、今後就職活動セミナーを受けてみたいですか。(1つだけ)

6. 就職セミナーに参加したくない理由(受けたくない人)

- 就職セミナーを受けたくないと回答した理由として、「受講する時間がない」46.8%、「お金がかかりそう」45.6%が高く、「ネット・情報誌等のメディアで十分」という回答は2割に止まった。

図. 就職セミナーに参加したくない理由(n=79/%)

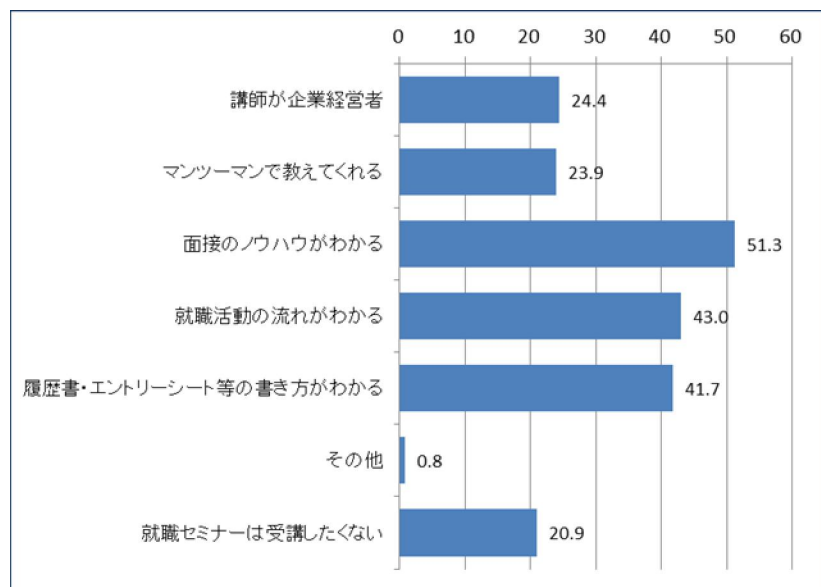


Q. 就職活動セミナーを受講したくないのはなぜですか。(いくつでも)

7. 参加したい就職セミナー(全員)

- どのような就職セミナーを受講してみたいか、全員に聞いた。
- 「面接のノウハウがわかる」51.3%が、最も多く選ばれたが、特に「女性」と「1～2年生」で高い。
- それ以外には、「就職活動の流れがわかる」43.0%、「履歴書・エントリーシート等の書き方がわかる」41.7%が高い。これらも、女性、1～2年生、未就活者で高い結果であった。

図. 参加したい就職セミナー(n=616/%)



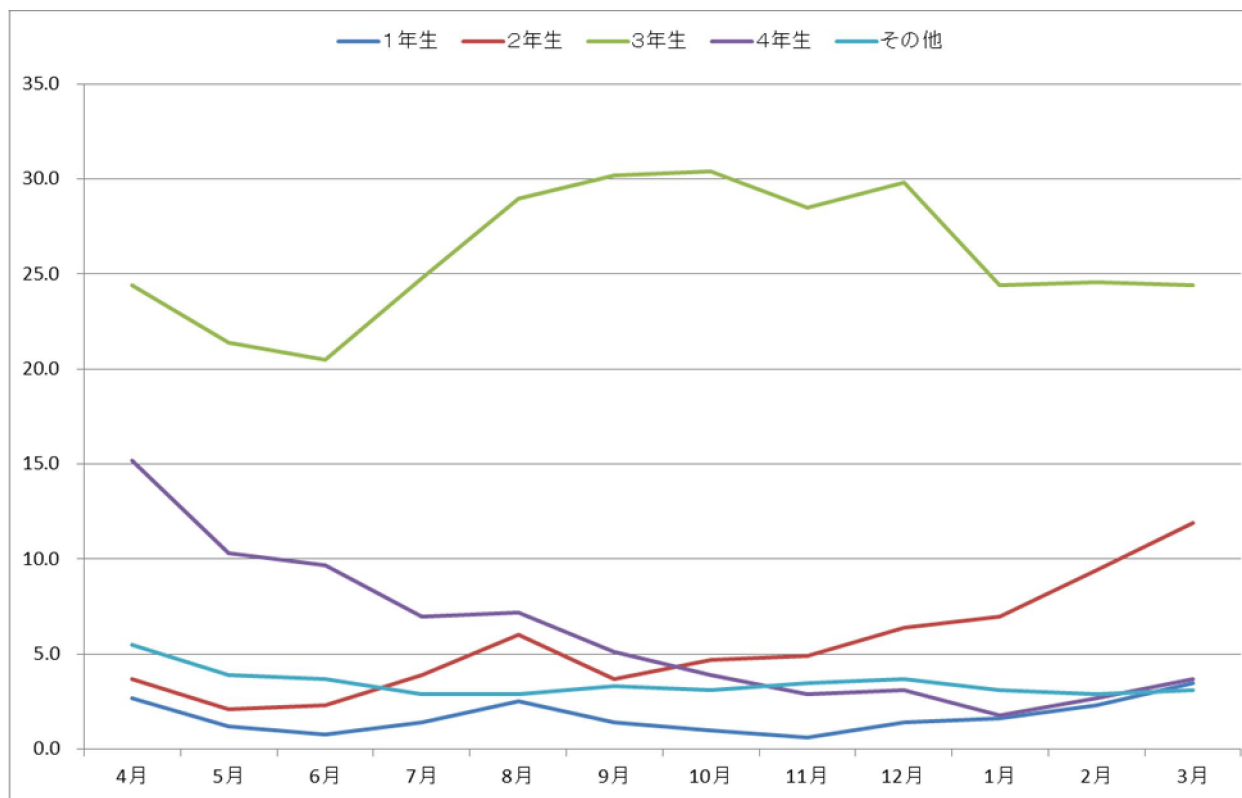
【性別】		【学年別】		【就活段階】		
男性	女性	1～2年生	3～4年生	終わった	活動中	未だ
24.4	24.4	37.0	19.3	16.5	22.8	30.1
24.0	23.7	24.5	23.6	21.6	31.0	21.3
43.8	58.8	60.9	48.6	49.4	49.4	53.5
41.6	44.5	64.1	35.0	34.1	32.9	54.3
35.7	47.7	53.3	38.4	38.1	39.9	45.0
0.6	1.0	-	0.9	0.6	1.9	0.4
25.6	16.2	14.1	22.1	27.8	16.5	19.1

Q. どんな就職活動セミナーなら受講してみたいですか。(いくつでも)

8. 就職セミナーに参加したい時期 ①全体(参加したくない人除く)

- 就職セミナーに参加したい時期は、2年生の春頃から始まり、3～4年生の春休みで収束する。
- 3年生時はどの時期でも20%を超え、特に「3年生の8月～12月」が30%程度と高く、そのピークは12月まで続く。

図. 就職セミナーに参加したい時期(n=487/%)

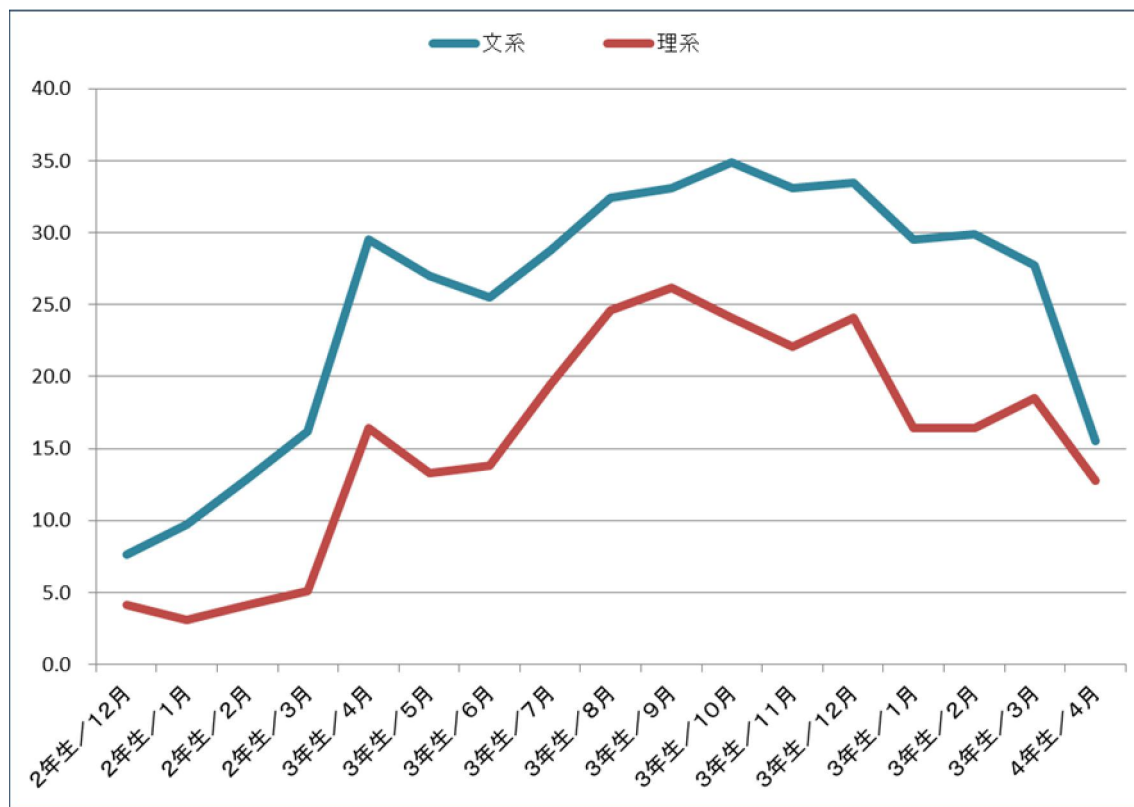


Q. 就職活動セミナーを受講するなら、いつ頃に受けたいですか。(いくつでも)

8. 就職セミナーに参加したい時期 ②文系・理系別

- 就職セミナーに参加したい時期を文系・理系学生別に比較すると、文系学生の方がピークが長く、3年生の4月から3月までほぼ1年間続く。
- 一方で、理系学生は文系学生と比較すると、全体的に参加意向率が低く、その中でもピークと言えるのは、3年生の夏から秋のシーズンである。

図. 就職セミナーに参加したい時期(文系・理系別)(n=487/%)



Q. 就職活動セミナーを受講するなら、いつ頃に受けたいですか。(いくつでも)

【大学生の就職活動実態・インターンシップへの意識】に関するアンケート

Q	アイテム名	質問文	選択肢	検 査 チ ェ ッ ク	質問 タイ プ	ベ ー ス
---	-------	-----	-----	----------------------------	---------------	-------------

「本調査は、一般財団法人 雇用開発センターが、これから職業生活に入っていくとする学生の皆さんに対して、就職活動実態やインターンシップへの意識等をお伺いし、今後の財団の情報支援事業の参考とすることを目的として行っているもので、イプソス株式会社はこの調査を受託しております。

この調査・研究事業に多くの皆様のお考えを反映いたしたく、当アンケートへのご協力をお願いする次第です。

- お答えいただいたデータは一般財団法人 雇用開発センターに提供いたします。
- データは研究目的のみに使用され、その他の目的には一切使用されません。
- データ分析の際には回答以外の情報（氏名・住所等）は提供されません。
- 情報は全て統計処理された上で研究目的のもとに公表されるので、回答そのものが公表されることはありません。
- また、弊社と一般財団法人 雇用開発センターとの契約により、他の第三者に皆様の回答内容を提供することは一切ございません。

ご多忙中恐縮でございますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。」

一般財団法人 雇用開発センター
http://www.earc.or.jp/
イプソス株式会社
http://www.ipsos.jp/

Q1	性別	性別をお知らせください。	1 男性 2 女性	SA	全員
----	----	--------------	--------------	----	----

Q2	生年月	生年月をお知らせください。	()年 ()月 ※プルダウン ※1995年4月～1989年3月生まれが対象	FA	全員
----	-----	---------------	---	----	----

Q3	職業/学校種別	あなたは現在、学生ですか。学生の方は、どちらの学校に通っていますか。	1 4年制大学(大学院含む) 2 短期大学・高専・専門学校 除外 3 学生ではない(会社員・フリーター・浪人生含む) 除外	SA	Q2=20-25
----	---------	------------------------------------	---	----	----------

Q4	学校の所在地	あなたの通っている学校の所在地をお知らせください。	47 【47都道府県(プルダウン形式)】 首都圏(11.埼玉 12.千葉 13.東京 14.神奈川) 東海(21.岐阜 22.静岡 23.愛知 24.三重) 近畿(25.滋賀 26.京都 27.大阪 28.兵庫 29.奈良 30.和歌山) 左記以外除外	SA	Q3=1
----	--------	---------------------------	--	----	------

Q5	卒業後の希望	あなたが現在通学している学校の卒業後の就労希望(進路)は何ですか。1つだけお知らせください。	1 正規雇用(正社員・正職員)での就労 2 非正規雇用(アルバイト・派遣等)での就労 3 大学院・博士課程に進学 4 別の学校(専門学校・大学等)に入学 除外 5 家業手伝い・無職 除外 6 その他() 除外 7 わからない・決めていない 除外	SA	Q4該当者
----	--------	--	---	----	-------

※以下、該当者全員

Q6	卒業年次	あなたが、現在の学校を卒業するのは、何年後ですか。(1つだけ)	1 今年 2 1年後 3 2年後 4 3年後 5 4年以上先	SA	全員
----	------	---------------------------------	--	----	----

Q7	学校選択理由	あなたが、現在の学校・学部を選択する際、卒業後の進路を考慮しましたか。(1つだけ)	1 卒業後の進路に有利な学校・学部を選択した 2 卒業後の進路に関係なく興味のある勉強ができる学校・学部を選択した 3 とにかく入学できる学校・学部を選んだ 4 その他()	SA	全員
----	--------	---	--	----	----

Q8	就職活動	あなたは、就職活動をしましたか。または、就職活動をしていますか。(1つだけ)	1 すでに就職活動を終えた 2 現在、就職活動中である 3 まだ、就職活動をしていない Q18へ	SA	全員
----	------	--	--	----	----

Q9	内定数	あなたは、合計で何社の内定を得られましたか。	()社	FA	Q8=1'2
----	-----	------------------------	------	----	--------

Q10	就職活動	あなたは、どのような就職活動をしていますか(しましたか)。(いくつでも)	1 インターンシップ(学生が一定期間、企業で就業体験を行える制度)(一社) Q11へ 2 ダブルスクール(大学等とは別に専門学校に籍を置くこと) 3 会社訪問(→ 社) 4 エントリーシートへの登録(→ 社) 5 OB・OG訪問(→ 社) 6 企業セミナーへの参加(→ 社) 7 就職セミナーへの参加(→ 回) 8 人材サービス会社への登録・カウンセリングの受講 9 その他() →Q10で1を選ばなかった人はQ17へ	MA	Q8=1'2
-----	------	--------------------------------------	---	----	--------

Q11	インターンシップ情報の入手先	参加したインターンシップの情報はどこから得ましたか。(いくつでも)	1 大学の就職課 2 企業の直接募集 3 就職情報会社 4 知人・友人・親 5 その他()	MA	Q10=1
-----	----------------	-----------------------------------	--	----	-------

Q12	インターンシップの参加期間	インターンシップの参加期間はどれくらいでしたか。複数参加された方は、参加したことのある「期間」をすべてお知らせください。(いくつでも)	1 1日 2 2日 3 3日以上1週間未満 4 1週間以上2週間未満 5 2週間以上1カ月未満 6 1か月以上3カ月未満 7 3か月以上	MA	Q10=1
-----	---------------	---	--	----	-------

Q13	インターンシップで参加したプログラム	参加したインターンシッププログラムはどのようなタイプでしたか。(いくつでも)	<ol style="list-style-type: none"> 1 実際の職場で業務説明を受け、少しだけ仕事を体験できる「見学・体験型」 2 業界・企業・仕事について講義を受け、その企業の事業内容について学ぶ「講義型」 3 参加者同士でチームを組み、その企業に関わる課題に取り組む「ミッション型」 4 直接企業の部署に配属され、スタッフの一人として業務を割り振られる「実務型」 5 その他() 	MA	Q10=1
-----	--------------------	--	---	----	-------

※以下の質問について、インターンシップに参加した企業が複数ある場合は、**メインの1社**についてお答えください。

Q14	インターンシップ先の企業を選択理由	インターンシップ先の企業を選んだ理由をすべてお知らせください。(いくつでも)	<ol style="list-style-type: none"> 1 働いてみたい会社だった 2 働いてみたい会社と同業種だった 3 働いてみたい仕事内容(職種)だった 4 勤務地が良かった 5 日程・期間の都合が良かった 6 働いてみたい企業規模だった 7 採用・選考に直結していた 8 報酬が出た 9 大学の単位が取れた 10 その他() 	MA	Q10=1
-----	-------------------	--	--	----	-------

Q15	インターンシップ後の就職意向変化	インターンシップに参加した企業に就職したいと思いましたが。(1つだけ)	<ol style="list-style-type: none"> 1 最初から就職希望企業だった 2 インターンシップに参加して就職したくなった 3 インターンシップに参加して就職しなくなかった 4 最初から就職希望先でなく、インターンシップ参加後も就職したいとは思わなかった 5 その他() 	SA	Q10=1
-----	------------------	-------------------------------------	--	----	-------

Q16	インターンシップの満足度	インターンシップに参加してそれぞれの点での満足度を教えてください。(1つずつ)	<p>マトリクス・表側</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 仕事が理解できた 2 事業内容について理解できた 3 企業・職場の雰囲気理解できた 4 自分のスキルが見極められた 5 社会人との人脈ができた 6 他の就職活動者と人脈ができた 7 内定に結びつきそうな感触を得た <p>マトリクス・表頭</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 満足 2 やや満足 3 どちらでもない 4 やや不満 5 不満 	マトリクス各SA	Q10=1
-----	--------------	---	--	----------	-------

Q16-1	インターンシップの満足点(OA)	それ以外に、インターンシップに参加して、満足に思われたことがあればお知らせください。	(自由回答)※空欄でもOK	FA	Q10=1
Q16-2	インターンシップの不満足点(OA)	それ以外に、インターンシップに参加して、不満に思われたことがあればお知らせください。	(自由回答)※空欄でもOK	FA	Q10=1

※Q17は、インターンシップに参加しなかった人に

Q17	インターンシップ不参加理由	あなたが、インターンシップに参加しなかった理由をすべてお知らせください。(いくつでも)	<ol style="list-style-type: none"> 1 インターンシップの内容に魅力を感じなかった 2 採用に有利になると思わなかった 3 実施期間・時間が合わなかった 4 志望企業・業種がインターンシップを実施していなかった 5 インターンシップを知らなかった 6 インターンシップの情報がなかった 7 参加したかったインターンシップの選考に漏れた 8 場所が良くなかった 9 その他() 	MA	Q10=2-8
-----	---------------	---	--	----	---------

※以下、全員

Q18	インターンシップのイメージ	インターンシップと聞いてあなたが思い浮かべるイメージをすべてお知らせください。(いくつでも)	<ol style="list-style-type: none"> 1 仕事が理解できる 2 事業内容が理解できる 3 企業・職場の雰囲気が理解できる 4 自分のスキルが見極められる 5 社会人との人脈ができる 6 他の就職活動者と人脈ができる 7 内定に有利になる 8 参加するのが難しそう 9 一定期間拘束される 10 社会参加できる 11 その他() 	MA	全員
-----	---------------	--	---	----	----

Q19	参加したいインターンシップ	あなたが参加してみたいインターンシップとはどんなものですか。次の中からすべてお知らせください。(いくつでも)	<ol style="list-style-type: none"> 1 実務経験が得られる 2 会社の内容がわかる 3 仕事の内容がわかる 4 企業・職場の雰囲気がわかる 5 気軽に参加できる 6 他の就職活動者と人脈ができる 7 その会社から内定がもらいやすくなる 8 拘束期間が短い 9 長期でじっくり仕事体験ができる 10 就職希望の業界が体験できる 11 就職希望企業で仕事体験ができる 12 募集人数が多い 13 その他() 14 インターンシップには参加したくない ※Q10=1の場合、この選択は非表示 	MA	全員
-----	---------------	--	---	----	----

Q20	参加したいインターンシップ企業	あなたは、インターンシップ先として、AとBのどちらを希望しますか。(1つずつ)	<p>マトリクス・表側</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 A官公庁・公的機関 → B.民間企業 2 A大企業 → B.中小企業 3 A人気ランキング上位企業 → B.一般的にあまり知られていない企業 4 A老舗企業 → B.新興・ベンチャー企業 5 A安定企業 → B.成長企業 <p>マトリクス・表頭</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Aを希望する 2 Bを希望する 3 こだわらない 	マトリクス各SA	Q19=14以外
-----	-----------------	---	---	----------	----------

Q21	インターンシップを探し始める時期	インターンシップに参加するとしたら、いつ頃から探し始めますか(しましたか)。(1つだけ)	()年 ()月 ※ブルダウン	FA	Q19=14以外
			Q21-1.学年	SA	
			1 1年生		
			2 2年生		
			3 3年生		
			4 4年生		
			5 その他()		
			Q21-2.月		
			1 4月		
			2 5月		
			3 6月		
			4 7月		
			5 8月		
			6 9月		
7 10月					
8 11月					
9 12月					
10 1月					
11 2月					
12 3月					

Q22	インターンシップ参加時期	インターンシップに参加するとしたら、いつ頃実施するプログラムを選択しますか(しましたか)。(いくつでも)	マトリクス・表割	MA	Q19=14以外
			1 1年生		
			2 2年生		
			3 3年生		
			4 4年生		
			5 その他()		
			マトリクス・表頭		
			1 4月		
			2 5月		
			3 6月		
			4 7月		
			5 8月		
			6 9月		
			7 10月		
8 11月					
9 12月					
10 1月					
11 2月					
12 3月					

Q23	就職に関する主な相談相手	あなたは、就職活動をする際、主に誰に相談しますか。(いくつでも)	1 就職指導の教員・職員	MA	全員
			2 ゼミ・学科等の担任・教員		
			3 友人・知人		
			4 父親		
			5 母親		
			6 兄弟		
			7 恋人・パートナー		
			8 民間の就職エージェント、アドバイザー		
			9 ハローワーク		
			10 インターネットの就職サイト		
			11 その他()		
			12 相談しない		

Q24	就職活動で参考にする情報	あなたが、就職活動をする際、どのような情報を参考にしましたか(しましたか)。次にあげる情報の中で、あなたが参考にする情報をお選びください。(いくつでも)	1 新聞記事	MA	全員
			2 雑誌記事		
			3 就職情報誌		
			4 就職に関する出版物		
			5 就職情報サイト		
			6 SNS(ミクシィやフェイスブックなど)		
			7 ブログやツイッター		
			8 その他()		
			9 参考にする情報はない		

Q25	就職活動の見通し・態度	卒業後、就職できる見込みはどの程度ありますか。(1つだけ)	1 志望どおり正規社員での就職先が内定している	SA	全員
			2 志望先ではないが正規社員での就職先が内定している		
			3 まだ内定していないが卒業までには正規社員での就職先が決まると思う		
			4 まだ内定しておらず、卒業までに正規社員での就職先が決まらなければ非正規社員での就労もやむを得ないと思っている		
			5 まだ内定しておらず、卒業までに就職先が決まらなければ、留年、就職浪人するのもやむを得ないと思っている		
			6 その他()		

Q26	学卒後の就職に向けた準備	あなたは、就職活動中、または、学卒後の就職に向けて、どのような準備をしていますか(しましたか)。(いくつでも)	1 学校での専攻、専門に関する科目	MA	全員	
			2 一般常識			
			3 適正診断対策			
			4 語学力			
			5 秘書検定			
			6 語学検定			
			7 ビジネスマナー			
			8 ITIに関する知識			
			9 パソコンの操作(メール、ワード、エクセル等)			
			10 面接の受け方・ノウハウ			
			11 履歴書の書き方			
			12 就職のための学外のセミナーへ参加			Q27へ
			13 就職のための学内のセミナーへ参加			Q27へ
			14 層別の企業セミナー			Q27へ
			15 留学			
			16 その他()			

Q27	就活セミナー情報源	あなたは、受講した就職活動セミナーを何で知りましたか。(いくつでも)	1 大学の案内 2 就活サイト(インターネット) 3 友人・知人 4 DM 5 新聞・情報誌 6 交通広告(電車・駅等の広告ポスター・チラシ) 7 その他()	MA	Q26=12-14
-----	-----------	------------------------------------	--	----	-----------

Q28	就職セミナー満足度	就職活動セミナーに参加して、それぞれの点での満足度を教えて下さい。(1つずつ)	マトリクス・表頭 1 就職活動の流れが理解できた 2 履歴書・エントリーシート等の書き方が理解できた 3 面接のノウハウを得られた 4 グループディスカッションのノウハウを得られた 5 SPI対策ができた 6 自己分析ができた マトリクス・表頭 1 満足 2 やや満足 3 どちらでもない 4 やや不満 5 不満	マトリクス各SA	Q26=12-14
-----	-----------	---	--	----------	-----------

Q28-1	就職セミナーの満足点(OA)	それ以外に、就職セミナーに参加して、満足に思われたことがあればお知らせください。	(自由回答)※空欄でもOK	FA	Q26=12-14
Q28-2	就職セミナーの不満足点(OA)	それ以外に、就職セミナーに参加して、不満に思ったことがあればお知らせください。	(自由回答)※空欄でもOK	FA	Q26=12-14

Q29	就職セミナーの受講意向	あなたは、今後就職活動セミナーを受けてみたいですか。(1つだけ)	1 受けてみたい Q31 2 やや受けてみたい Q31 3 どちらでもない Q31 3 あまり受けたくない Q30 4 受けたくない Q30	SA	Q8=1除く
-----	-------------	----------------------------------	--	----	--------

Q30	就職セミナー受講したくない理由	就職活動セミナーを受講したくないのはなぜですか。(いくつでも)	1 お金がかかりそう 2 就職活動のノウハウをすでに持っている 3 ネット・情報誌等のメディアで十分 4 受講する時間がない 5 その他()	MA	Q29=2-3
-----	-----------------	---------------------------------	---	----	---------

Q31	受講したい就職セミナー	どんな就職活動セミナーなら受講してみたいですか。(いくつでも)	1 講師が企業経営者 2 マンツーマンで教えてくれる 3 面接のノウハウがわかる 4 就職活動の流れがわかる 5 履歴書・エントリーシート等の書き方がわかる 6 その他() 7 就職セミナーは受講したくない ※Q10=7の場合、この選択肢は非表示	MA	全員
-----	-------------	---------------------------------	---	----	----

Q32	就職セミナーを受講したい時期	就職活動セミナーを受講するのなら、いつ頃に受けたいですか。(いくつでも)	マトリクス・表頭 1 1年生 2 2年生 3 3年生 4 4年生 5 その他() マトリクス・表頭 1 4月 2 5月 3 6月 4 7月 5 8月 6 9月 7 10月 8 11月 9 12月 10 1月 11 2月 12 3月	MA	Q31=7以外
-----	----------------	--------------------------------------	--	----	---------

Q33	就職希望企業	あなたは、就職先として、AとBのどちらを希望しますか。(1つずつ) ※すでに内定を受けている方も希望でお答えください	マトリクス・表頭 1 A.官公庁・公的機関 → B.民間企業 2 A.大企業 → B.中小企業 3 A.人気ランキング上位企業 → B.一般的にあまり知られていない企業 4 A.老舗企業 → B.新興・ベンチャー企業 5 A.安定企業 → B.成長企業 マトリクス・表頭 1 Aを希望する 2 Bを希望する 3 こだわらない	マトリクス各SA	全員
-----	--------	---	---	----------	----

Q34	職業能力の自己評価	あなたは自身の職業能力について、どの程度自信がありますか。(1つだけ)	1 職業能力には非常に自信がある 2 職業能力にはやや自信がある 3 どちらともいえない 4 職業能力にはあまり自信がない 5 職業能力にはまったく自信がない	SA	全員
-----	-----------	-------------------------------------	---	----	----

Q35 職業能力の自身の強み	次にあげる職業能力それぞれについて、あなたご自身の「強味」だと思ふことをいくつでもお選びください。(いくつでも)	1 特定の領域に関する専門知識	MA	全員
		2 特定の領域の技能・技術		
		3 ITやネットワークに関する知識・技術		
		4 パソコンの操作(メール、ワード、エクセル等)能力		
		5 折衝力・交渉力		
		6 リーダーシップ		
		7 マネジメント、経営ノウハウに関する知識		
		8 語学力		
		9 ビジネスマナー		
		10 販売・接客能力		
		11 チームプレーの能力		
		12 協調性		
		13 柔軟性・適応力		
		14 コミュニケーション能力、対人能力		
		15 その他()		
		16 強みはない 排他		

Q36 就労上の重視点	あなたが就労にあたって、重視する(求める)点は何ですか。(いくつでも)	1 給与・年収	MA	全員
		2 残業の少なさ		
		3 休みの取りやすさ		
		4 福利厚生制度が充実している		
		5 勤め先の場所(立地)		
		6 仕事のやりがい		
		7 希望する仕事ができる		
		8 あらたな人との出会い(会社や取引先の人間関係)		
		9 知識・能力向上機会(教育・研修、留学)		
		10 社内での昇進の可能性		
		11 独立・起業できる経験・実績が積める		
		12 定年まで勤められる		
		13 親や周囲の意見		
		14 その他()		
		15 重視する(求める)点はない 排他		

Q37 国公立	あなたが現在通っている学校は、国公立のいずれですか。	1 国立	SA	全員
		2 公立		
		3 私立		

Q38 学校名	あなたが、現在通っている学校名をお知らせください。	(自由回答) 空白欄でもOK	FA	全員
---------	---------------------------	----------------	----	----

Q39 専攻	あなたの専攻は、文系ですか、理系ですか。	1 文系	SA	全員
		2 理系		
		3 その他()		

Q40 学年	あなたの学年(今年の2月現在)をお知らせください。	1 大学1年生	SA	全員
		2 大学2年生		
		3 大学3年生		
		4 大学4年生		
		5 大学進学		

Q41 就職活動以前の卒業への履歴	あなたは、就職活動以前、どの程度授業・講義・ゼミ等に出席しましたか。(1つずつ)	マトリクス・表頭	マ トリ クス 表 頭 SA	全員
		1 専攻・専門領域は		
		2 卒業後の仕事に関わる領域は		
		3 それ以外の領域は		
マトリクス・表頭	1 積極的に出席した	2 まあ出席した	3 ほとんど出席しなかった	

Q42 学生生活の送り方	あなたの学生生活は、どのようなものですか？ 次の中からあなたの学生生活に最も近いものをお選びください。(1つだけ) ※学業＝勉強や研究 ※サークル活動＝サークル部活動、趣味の活動 ※就職活動は除く	1 学業中心	SA	全員
		2 サークル活動中心		
		3 アルバイト中心		
		4 学業・サークル活動・アルバイトのいずれにも力を使えなかった		

Q43 出身地	あなたの出身地をお知らせください。 ※出身地とは高校卒業まで一番長く生活したところを指します。	4) 【47都道府県(ブルダウン形式)】	SA	全員
---------	--	----------------------	----	----

Q44 親との同居	あなたは、ふだんのお住まいにおいて、親と同居していますか。	1 親と同居している	SA	全員
		2 親と同居していない		